Panasonic®

DVD ステレオシステム
取扱説明書
品番　SC-PM08

このたびは、DVD ステレオシステムを
お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
　販売店からお受け取りください。

保証書別添付　　上手に使って上手に節電

もくじ

まず
確認と準備

すぐ
使いたいとき

もっと
使いこなしたいとき

もし
必要なとき

ご使用前に
使いかた
必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

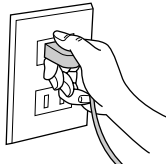
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

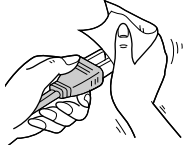
［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

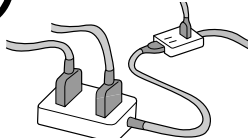
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

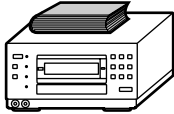
異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
- 本体上面、後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスク挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

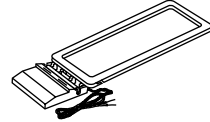
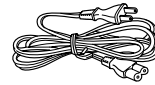
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使用しない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

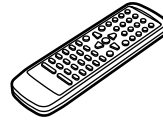
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

接続の前に、まず付属品を確かめてください。

□ FM 簡易型アンテナ･･････････････1 本
（品番 RSA0006-J）

□ AM ループアンテナ ･････････････1 本
（品番 RSA0032）

□ 電源コード ･････････････････････1 本
（品番 RJA0059-J）

□ ビデオコード ･･･････････････････1 本
（品番 RJL1P016B15A）

□ リモコン ････････････････････････1 コ
（品番 RAK-PM904WK）

□ リモコン用単 3 形乾電池･･････････2 本

□ スピーカー用ゴム足･････････････12 コ
（品番 RFA0631A-K）

※買い換え時のサービス供給品は 4 コセットです。

お願い

- 電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
カッコ（　　）内は、買い替え時の品番を表します。

ディスクの種類と表示

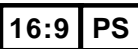
再生できるディスク

これらのマークが入ったディスクをご使用ください

DVDビデオ	ビデオCD	音楽CD

本機に合ったリージョン番号のディスクが再生できます。(ジャケットなどに表示されています。)

   などのディスク

- **本機のリージョン番号は「2」です。**
- **本機は、「2」(「2」を含むもの)または「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。**

リージョン番号とは、発売地域ごとにDVDのソフトとプレーヤーに割り当てられた番号です。

再生できないディスク

- リージョン番号に「2」または「ALL」の含まれないDVDビデオ
- PAL方式で記録されたディスク
- DVDオーディオ
- DVD-R
- DVD+RW
- VSD
- CDV
- CD-G
- SACD
- CD-R
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD-RW
- CD-ROM
- CVD
- CD-RW
- SVCD
- フォトCD

など

DTS(➪ 54ページ)で記録された音声を再生するには、別売りのデコーダーと、本システム以外のスピーカーが必要です。

DVDビデオディスクのジャケットの表示

1:オリジナル(英語)(5.1chサラウンド)
2:日本語(5.1chサラウンド)

音声トラック数

数字は記録されている音声トラックの数、右側はその音声トラックに記録されている言語と記録方式です。

1:日本語字幕
2:英語字幕

字幕

数字は記録されている字幕の数、右側はその言語です。

マルチアングル

マルチアングルのディスクであることを表わしています。
数字は記録されているアングルの数です。

画面サイズ

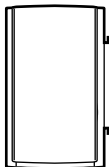
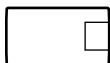
映像がどのような画面サイズで記録されているかを表わします。
テレビに映し出される映像は、テレビの画面モードによっても異なります。
(➪ 52ページ)

表示	説明
4:3	4:3の標準サイズ
LB	レターボックス(4:3で上下に黒帯が入っている画面)
16:9 LB	16:9のワイドサイズ 画面サイズが4:3のテレビでは、レターボックスで再生されます。
16:9 PS	16:9のワイドサイズ 画面サイズが4:3のテレビでは、両側または片側が切れた画面(パン&スキャン)で再生されます。

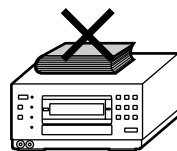
設置

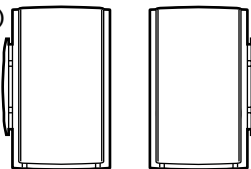
スピーカーについて

本システムには 3 種類（5 つ）のスピーカーが付属しています。

■**フロントスピーカー（2 つ）**
品番： SB-PM08
大きいスピーカーです。
側面にスーパーウーハーが付いています。

■**センタースピーカー（1 つ）**
品番： SB-PC80
コードの短い、小さいスピーカーです。

■**サラウンドスピーカー（2 つ）**
品番： SB-PS80
コードの長い、小さいスピーカーです。

本体

上面の放熱孔をふさがないでください。

フロントスピーカー

スーパーウーハーが外側にくるようにして、左右のスピーカーを置いてください。

スピーカーの横に物を置くときは、スーパーウーハーから出る音を妨げないように、10 cm 以上の隙間を空けておいてください。

センター、サラウンドスピーカーの取り付け

センター、サラウンドスピーカーは縦向きにも横向きにも置くことができます。また、壁に取り付けることもできます。

お願い

落下の危険がありますので、必ず水平な場所にぐらつきのないように設置してください。それ以外の場所への設置は、落下防止などの十分な安全対策を行ってください。

スピーカーゴム足を貼る

スピーカーを安定して取り付けるため、また壁や家具などに傷を付けないために、スピーカーゴム足（付属）を貼ります。
設置の方法に合わせて、図の●印の位置にゴム足を貼ってください。

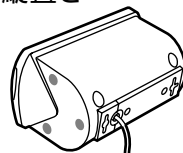
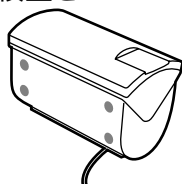
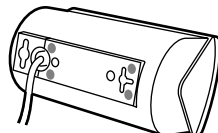
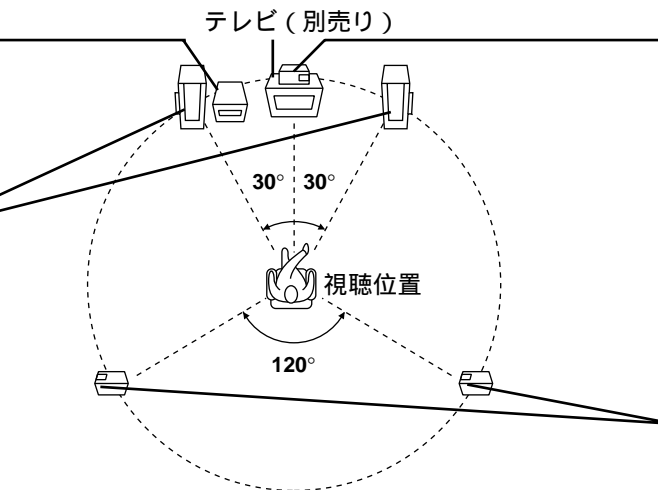
横置き

縦置き

壁に取り付ける時

穴をふさがないように注意

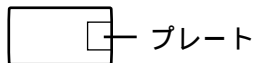
● 各スピーカーを視聴位置から同じ距離に設置するのが理想です。なお、角度は目安です。
● センター、サラウンドスピーカーの後面にはスピーカーの名前が書いてあります。

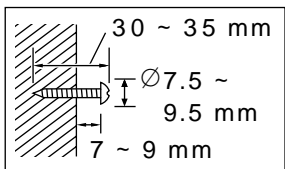
視聴位置：普段音楽や映像を楽しむときに座る位置

センタースピーカー

テレビの真上に設置してください。

サラウンドスピーカー

右、左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。

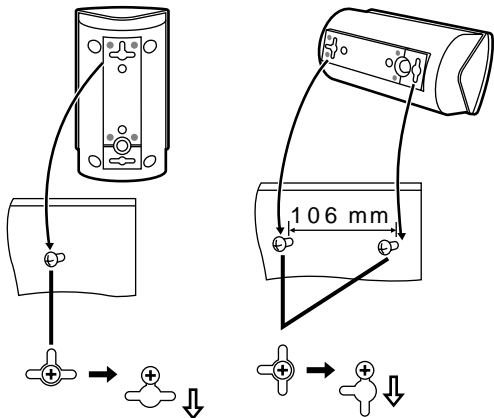
● 視聴位置の横またはやや後ろ側
● 普段視聴するときの耳の高さより１ｍほど上の位置
● プレートを視聴位置の方に向ける

上記のような場所に、左右のスピーカーをそれぞれ設置してください。
（好みによって位置を調節してください。音楽の種類によっても、聞こえ方が微妙に異なります。）

センター、サラウンドスピーカーのスピーカーネットを取り外すことはできません。

壁に取り付ける

壁や柱などにネジ（市販品）を図のように取り付け、スピーカーをかけます。

お願い

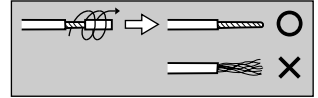
取り付ける壁には５ｋｇ以上の重量を支えられる強度が必要です。
詳しくは施工者の方などにご相談ください。

縦向きに取り付ける　**横向きに取り付ける**

お願い

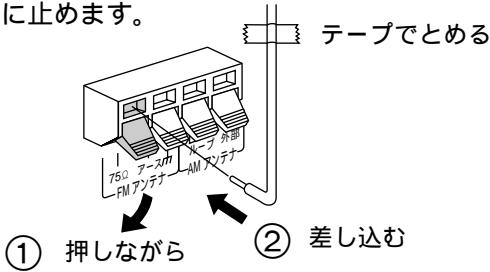
● 本機のフロント、センタースピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカー＜防磁設計（EIAJ)＞※ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
● 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
● 本機のサラウンドスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

※＜防磁設計（EIAJ)＞とは（社）日本電子機械工業会（EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

接続

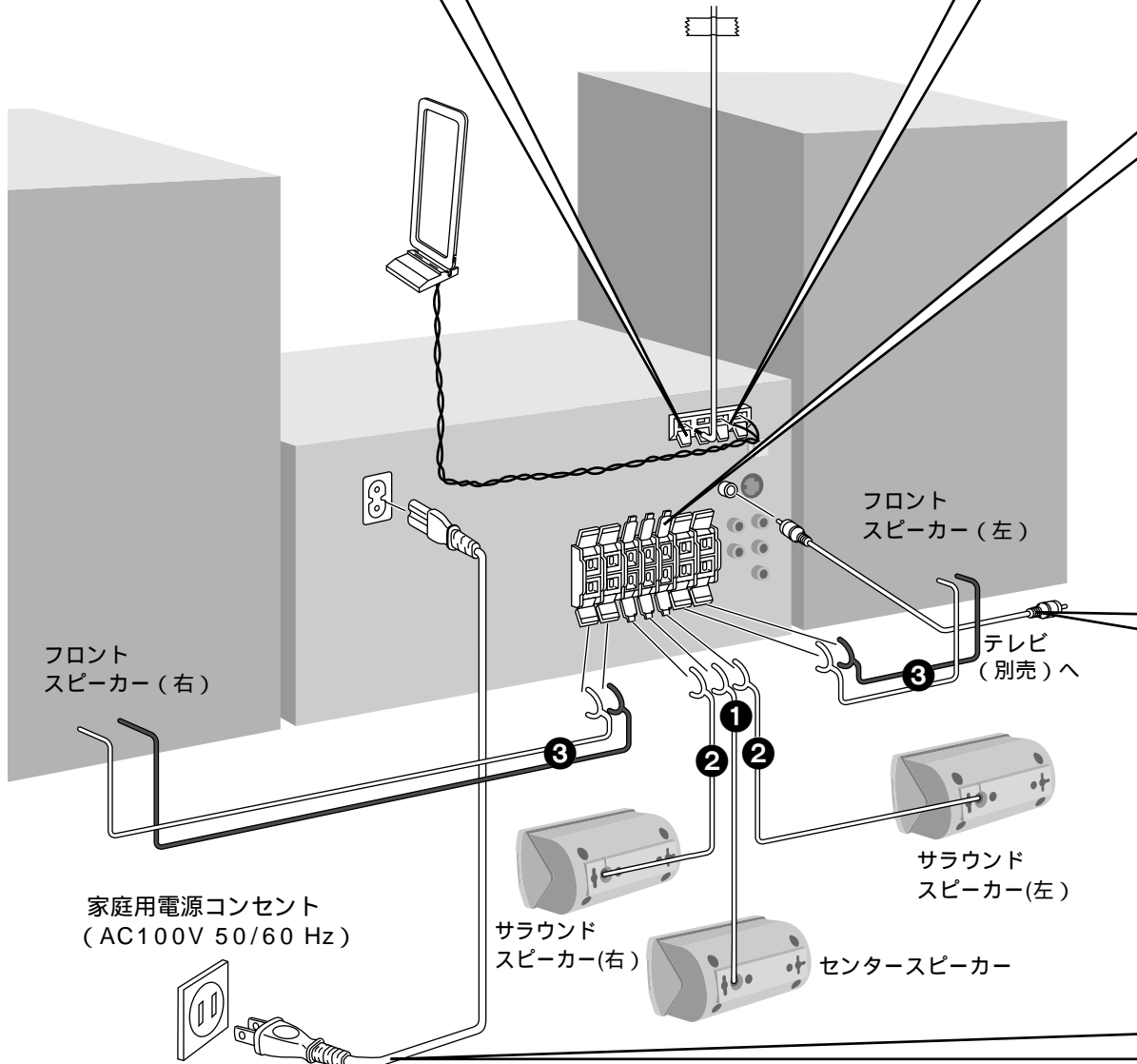
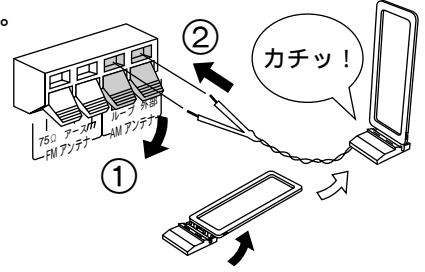
準備： FM アンテナ、AM ループアンテナ、スピーカーコード
の先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

1 FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて
(➪ 30 ページ)、雑音の少ない位置で壁や
柱に止めます。

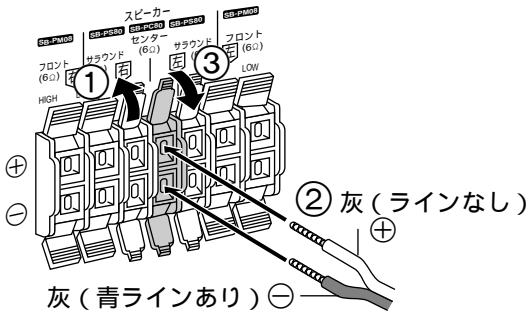
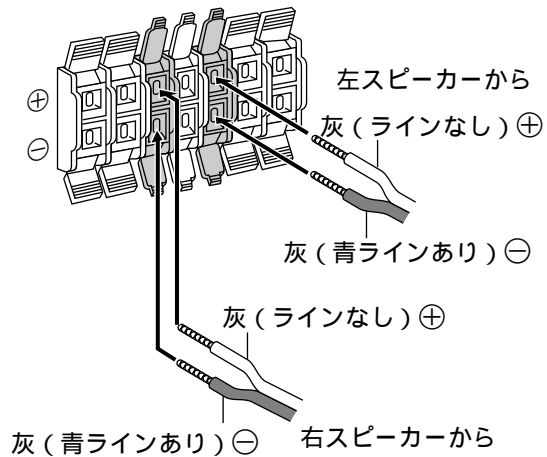
テープでとめる
75Ω
アースFM アンテナ
ループ AM アンテナ
外部
① 押しながら
② 差し込む

2 AM ループアンテナ

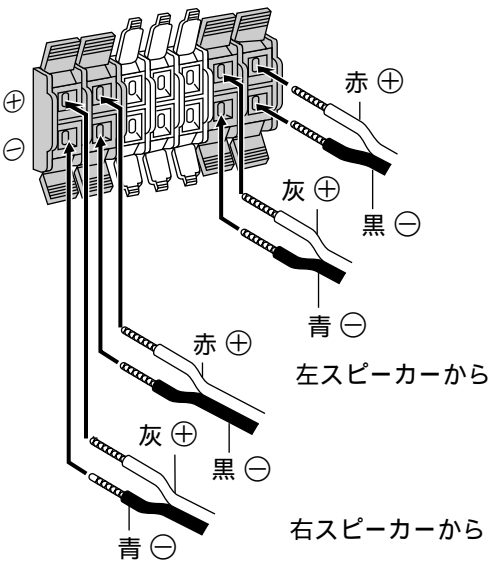
つないだあと、実際に放送を受信してみて
(➪ 30 ページ)、雑音の少ない位置に置き
ます。

②
カチッ！
75Ω
アースFM アンテナ
ループ AM アンテナ
外部
①

フロント
スピーカー（左）
テレビ
（別売）へ
フロント
スピーカー（右）
❸
❶
❷
❷
サラウンド
スピーカー(左)
サラウンド
スピーカー(右)
センタースピーカー
家庭用電源コンセント
（AC100V 50/60 Hz）

3 スピーカーコード

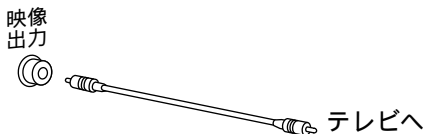
端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。

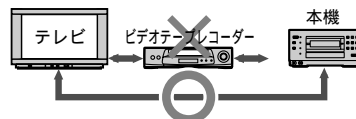
❶ センタースピーカーコード

❸ フロントスピーカーコード

❷ サラウンドスピーカーコード

お願い

- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- ⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因になります。

4 ビデオコード

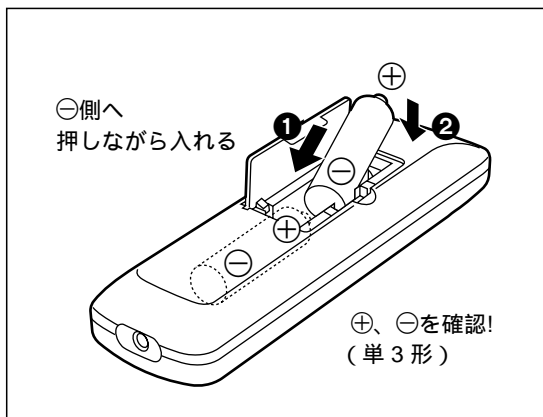
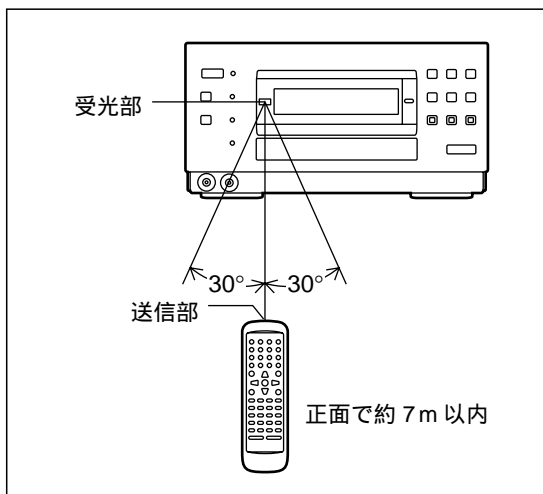
テレビの映像入力端子につなぎます。

より高画質で楽しみたいときは
S映像コードを使って、テレビのS（S1）映像入力端子につなぎます（➪ 46ページ）。

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオテープレコーダーやAVセレクター経由で接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。
- 複数の入力端子が付いたビデオ内蔵型テレビに接続するときには、テレビ側の入力端子に接続してください。

5 電源コード

お知らせ

本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約1ヵ月間保持されます。

リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた

リモコンの使いかた

■**使用上のお願い**

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

■**故障防止のために**

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど、液状のものをこぼさない。

■**本体をラックに入れて使用するとき**

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

本書で使用しているディスク記号について

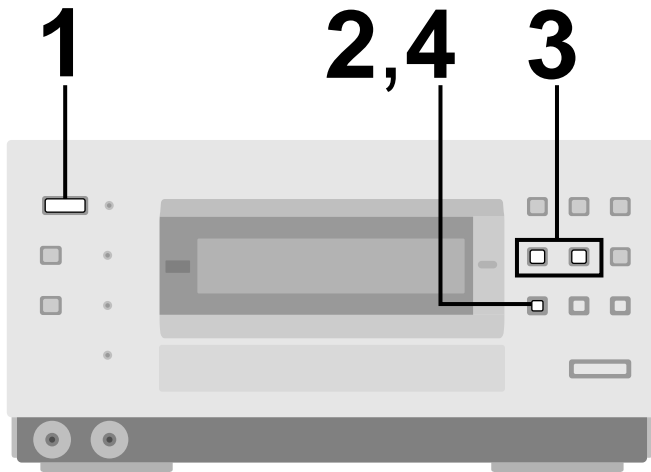
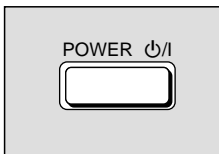
ディスクによって、使える機能が異なります。
本書では次の記号を使って、その機能が使えるディスクを表わしています。

本書では、DVD ビデオを「DVD」、音楽 CD を「CD」と表記しています。

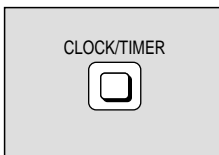
DVD DVD で楽しめる機能です。
VCD ビデオ CD で楽しめる機能です。
CD CD で楽しめる機能です。

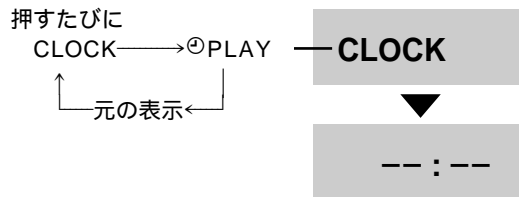
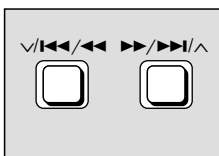
ディスクによっては、これらの記号が付いている操作でも、できないものがあります。
ディスクのジャケット表示なども合わせて参照してください。

時計を合わせる（24 時間表示）

例：16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

1

押す

電源が入ります。

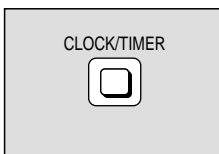
2

押して

“ CLOCK ” を選ぶ

3

約 7 秒以内に、押して

時計を合わせる

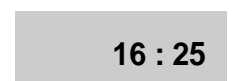
ポンと押すと 1 分ずつ、押しつづけると連続して時間表示が進みます。
合わせたい時刻に近づいたら、ポンポンと押して調節します。
元の表示に戻ったときは、手順 2 からやり直してください。

16 : 25

4

時報に合わせて

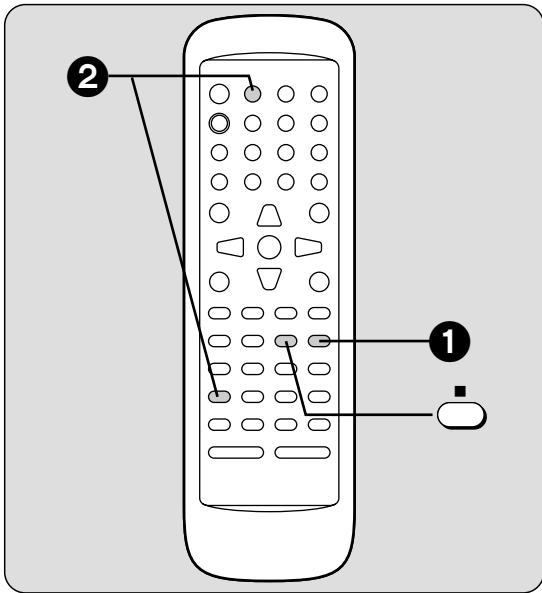
押す

時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

16 : 25

■時計を表示させるには

［CLOCK/TIMER］を押して“ CLOCK ”を表示させる。時計を約 5 秒間表示して、元の表示に戻ります。

オートオフ機能を使う

リモコンのみ

電源の切り忘れを防ぐ機能です。
ディスクモードのとき、再生を停止したまま 4 分間操作をしないと、自動的に電源が切れます。

❶ ▶ 押して、ディスクモード（音源がディスクの状態）にする。

DVD/CD

演奏が始まったときは、[■] を押して演奏を止めます。

❷ シフト 押しながら、オートオフ スリープ 押す。

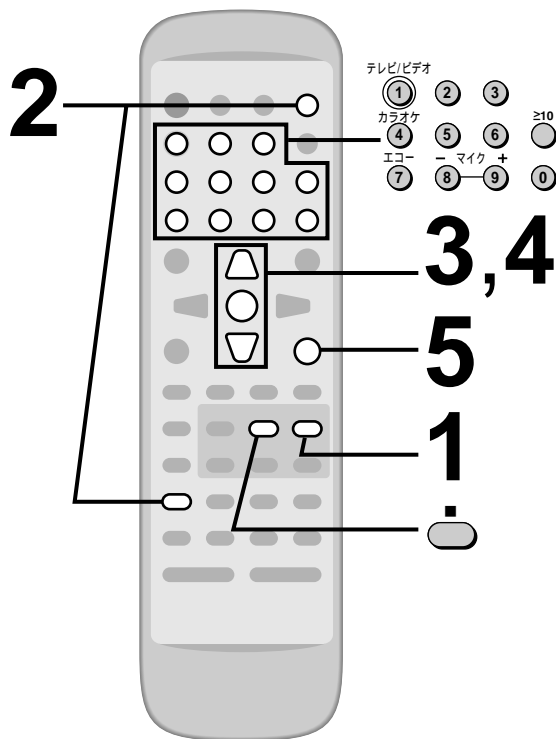
AUTO OFF

■解除するには
もう一度［シフト］を押しながら［オートオフ］を押す

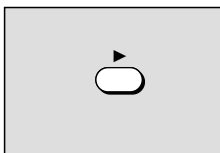
お知らせ

- 一度設定しておくと、電源を切／入してもオートオフ機能が働きます。
- テレビにメニュー画面が表示されているときは、オートオフ機能が働きません。
- ディスクモード以外のときは“ AUTO OFF ”表示が消えますが、ディスクモードにすると表示が戻ります。

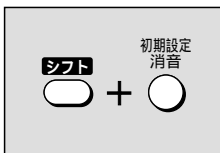
テレビ画面を設定する

ご使用のテレビの種類により、画面サイズの設定をします。
初期設定（お買い上げ時の設定）は従来のテレビサイズ（4 ： 3）になっています。
4 ： 3 のテレビをお使いの場合にはこの設定は不要です。

準備
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせて、テレビの入力を切り換える。（ビデオ１など）

リモコンのみ

1

押す

電源が入り、ディスクモードになります。
演奏が始まったときは、［■］を押して演奏を止めます。

2

停止中に
同時に押して

初期設定画面を表示させる

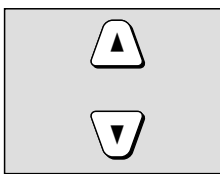
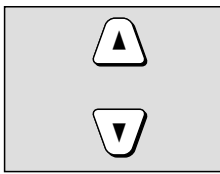
1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル　8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 接続するTV　4：3
6 デジタル出力
7 スピーカー設定
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

3

押して

“ 5　接続する TV ” を選ぶ

押す

1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル　8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 接続するTV　4：3
6 デジタル出力
7 スピーカー設定
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

4

押して

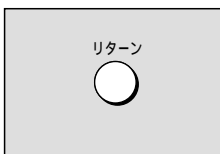
サイズを選ぶ

４ ： ３　　従来のテレビ
16 ： ９　ワイドテレビ

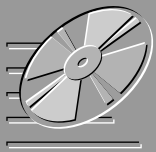
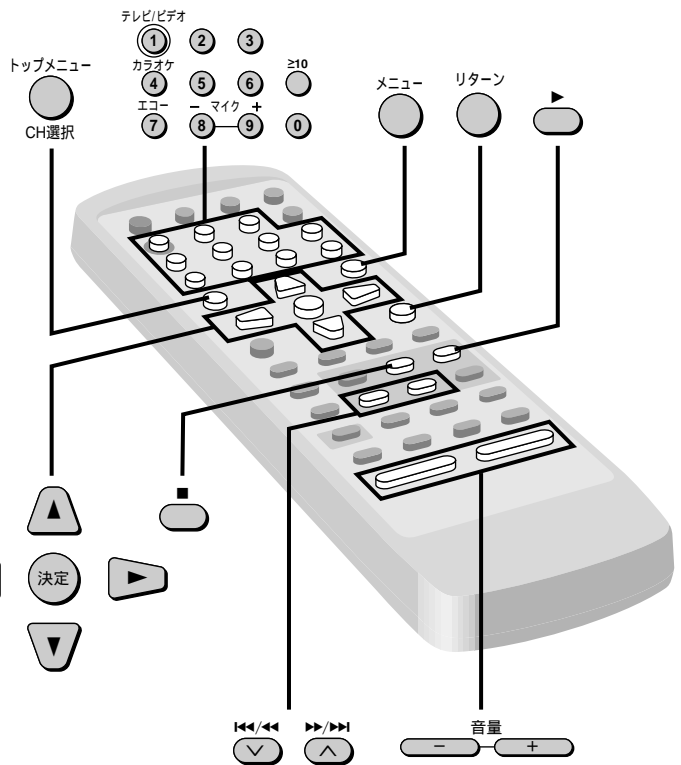
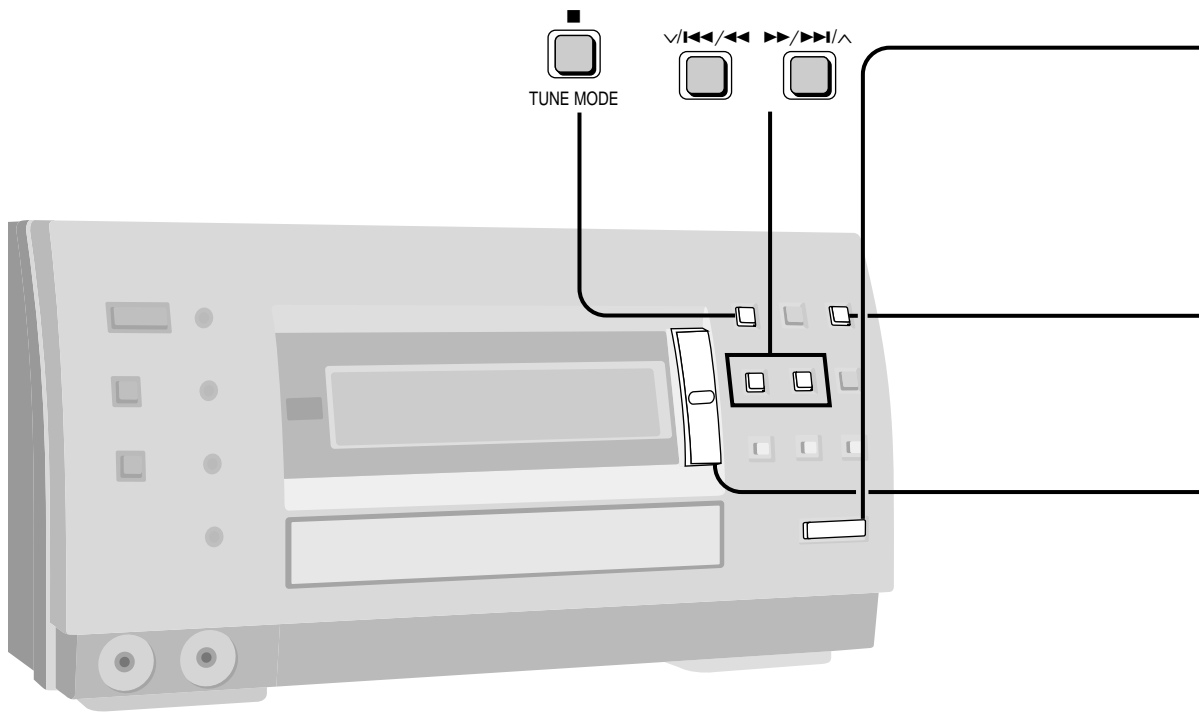
接続するテレビの設定
1　4：3
2　16：9
リターンボタンで終了

押す

設定後は初期設定画面に戻ります。

5

押す

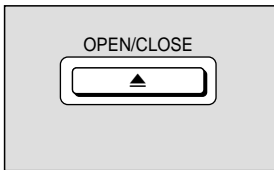
■手順 3、4 は数字ボタンでもできます

選択する項目の前にある数字のボタンを押してください。
（例）“ 5 接続する TV ” を選ぶには、[5]を押す。

ディスクの再生を始める

お知らせ

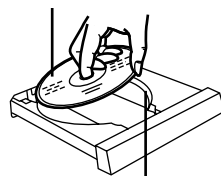
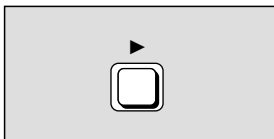
DVDを再生中にテレビに絵表示を表示させて、いろいろな操作ができます。(➪ 27 ページ)

DVD **VCD** **CD**

準備（DVD、VCDを楽しむとき）
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせて、テレビの入力を切り換える。（ビデオ１など）

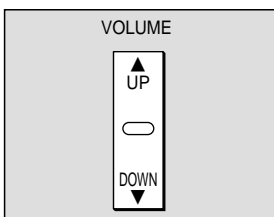
1

押して（電源が入ります）

トレイを開けて ディスクをセットする

もう一度押すとトレイが閉まります。トレイが閉まるとすぐに演奏が始まるディスクもあります。

2

押して

再生を始める

テレビにメニュー画面が表示されたら ➪ 下記

3

押して

音量を調節する

リモコンでは
[音量（−、＋）]を押す

VOL −48dB

-- dB 最小 0 dB 最大

■演奏を途中で止めるには ⇨

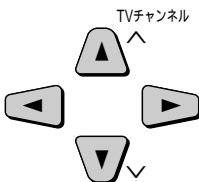
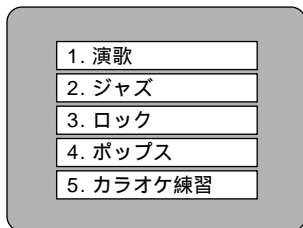
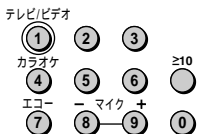
押す（止めた位置から再生 ➪ 18 ページ）

■テレビにメニューが表示されたら リモコンのみ ⇨

（例）

1. 演歌
2. ジャズ
3. ロック
4. ポップス
5. カラオケ練習

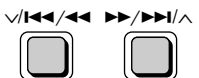
押して
再生する項目を選び

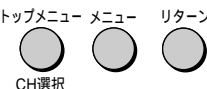
押す

または

再生する項目の番号を
押す

１０以上を選ぶには［≥10］を押してから数字ボタンを押す。
（例）チャプター１０：
［≥10］→［1］→［0］

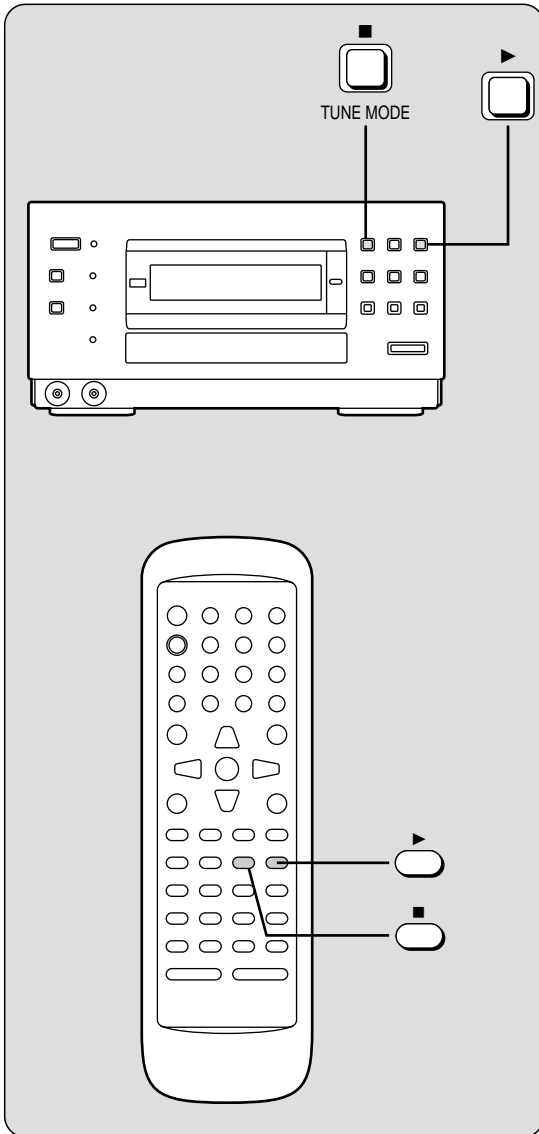
お知らせ
ビデオCDのときは数字ボタンでのみ選ぶことができます。

■メニューに続きがあるときは ⇨

押す

リモコンでは、[∨、⏮/◀◀]または[∧、▶▶/⏭]を押す。
（ディスクによっては働くボタンが異なることがあります。）

■メニューを表示せずに演奏が始まったら ⇨

いずれかを押す

ディスクの再生を始める（つづき） DVD

お知らせ
- **“⃠”がテレビ画面に出たら**
  その操作はできません。（ディスク、または本機によって禁止されています。）
- メニュー画面がテレビに表示されている間は、ディスクが回転しています。それ以上の再生をしない場合は［■］を押してディスクを停止させてください。

止めた位置から再生する

再生中に［■］を押すと、止めた位置を記憶します。
（続き再生メモリー）

●止めた位置から再生するには

本体 リモコン

“RESUME”点灯中に
押す

●止めた位置までのあらすじを見るには
（DVDのみ）

“RESUME”点灯中に［▶］を押すと、テレビに次のメッセージが表示されます。

本体 リモコン

メッセージ表示中に
押す

止めた位置までの各チャプター（➪ 54 ページ）のはじめの約5秒間が再生された後、止めた位置から通常の再生が始まります。
（あらすじリプレイ）

お知らせ
再生中のタイトルの中でのみ働きます。

●続き再生メモリーを解除するには

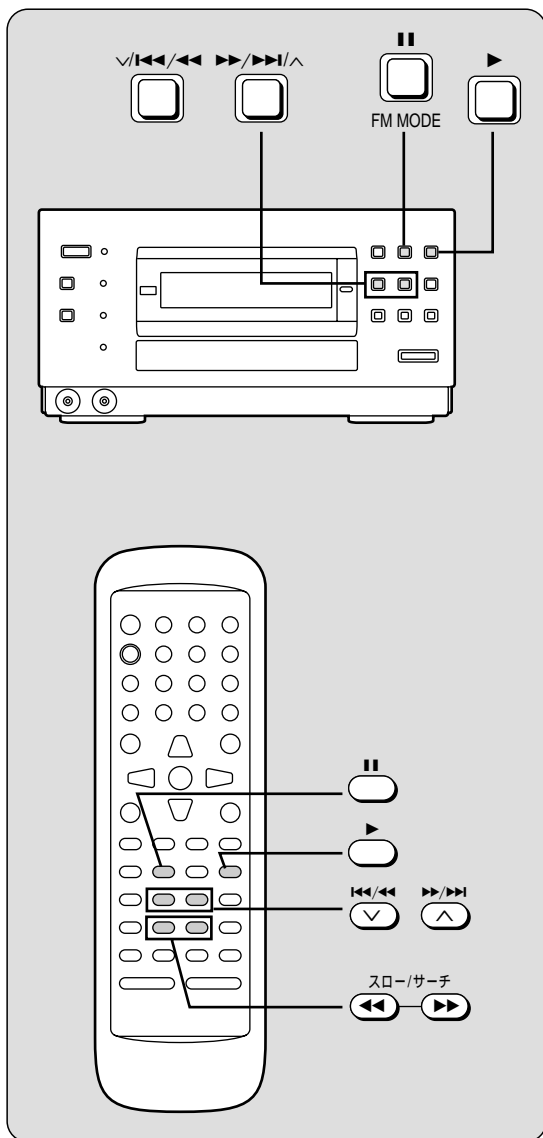
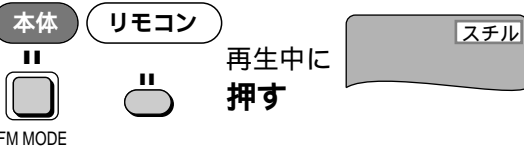
本体 リモコン

“RESUME”点灯中に
押す

お知らせ
- 再生中に表示窓に時間表示の出ないディスクでは、続き再生メモリーが働きません。
- 電源を切ってもメモリーは残ります。
- トレイを開けると続き再生メモリーは解除されます。
- あらすじリプレイのできないＤＶＤもあります。

一時停止（静止）する

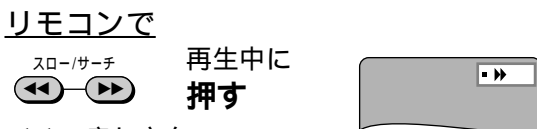
本体　リモコン

FM MODE

再生中に
押す

●通常再生に戻すには
[▶] を押す。

早戻し／早送り

リモコンで

スロー/サーチ

再生中に
押す

◀◀ ：戻し方向
▶▶ ：送り方向

速度は５段階あり、押すたびに速くなります。

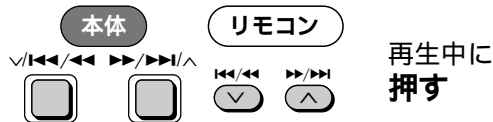
●通常再生に戻すには
[▶] を押す。

●本体でもできます
[∨/⏮◀◀/◀◀]、[▶▶/▶▶⏭/∧]を押しつづける。
ボタンを離すと、通常再生に戻ります。
速度を選ぶことはできません。

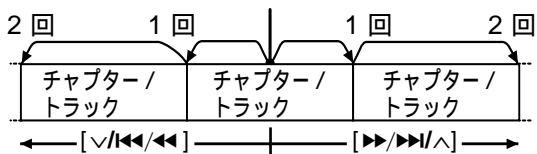
お知らせ
ＰＢＣ付きビデオＣＤ（➪ 54 ページ）の再生中にこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

場面や曲を飛びこす（スキップ）

ＤＶＤのチャプター、ビデオＣＤやＣＤのトラック（➪ 54 ページ）の始めに飛び、そこから再生します。

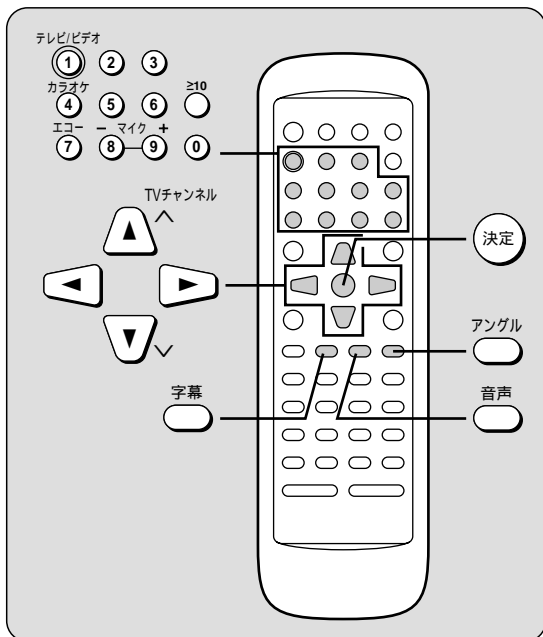
本体　リモコン

再生中に
押す

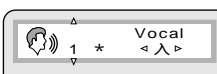
∨/⏮◀◀/◀◀ ：戻し方向
▶▶/▶▶⏭/∧ ：送り方向

押した回数のチャプターまたはトラックを飛びこします。

お知らせ
ＰＢＣ付きビデオＣＤの再生中にこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

使いかた

いろいろな再生

リモコンのみ　音声、字幕、アングルを切り換える

カラオケＤＶＤでは、ボーカルの入／切や切り換えができます

① 再生中に［音声］を押して、画面表示を出す。

② ［音声］またはカーソルボタン［◀］、［▶］を押して、切り換える。

ソロ	デュエット
---：ボーカル「切」	---：ボーカル「切」
入：ボーカル「入」	1+2：ボーカル1、2「入」
	Ｖ１：ボーカル1「入」
	Ｖ２：ボーカル2「入」

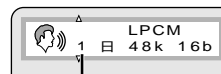
“ --- ”を選ぶとカラオケができます。
“ Ｖ１ ”または“ Ｖ２ ”を選ぶと、ひとりでもデュエットを楽しむことができます。

DVD

複数の音声や字幕が記録されたＤＶＤでは、再生中にそれらを切り換えることができます。また、マルチアングルが記録されているＤＶＤでは、１つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。

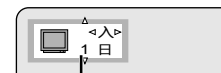
音声を切り換える

再生中に

押す

ボタンを押すたびに番号が切り換わります。

字幕を切り換える

再生中に

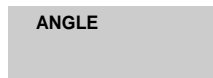
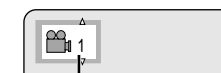
押す

ボタンを押すたびに番号が切り換わります。

アングルを切り換える

マルチアングルが記録されている箇所では、表示窓に“ ANGLE ”が点灯します。

ANGLE

再生中に

押す

ボタンを押すたびに番号が切り換わります。

■こんな切り換え方もあります

- カーソルボタン［▲］、［▼］で番号を選ぶ。
- 選択する番号の数字ボタンを押す。

■字幕を入／切するには

① ［字幕］を押して、画面表示を出す。
② カーソルボタン［◀］、［▶］を押して［切］［入］を選ぶ。

入 1 日 ↔ 切 1 日

■画面表示を消すには

［決定］を押す。

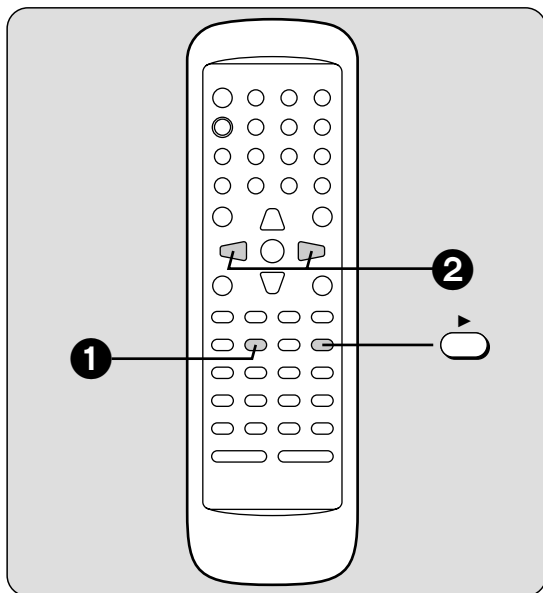
お知らせ

- 初期設定画面（➪ 47、48 ページ）で設定すると、始めから好みの音声、字幕言語で楽しむことができます。
（ディスクによっては、それ以外の音声／言語で再生が始まることもあります。）
- ディスクに記録されている音声／言語のみ選ぶことができます。

リモコンのみ　コマ戻し／コマ送り

DVD　VCD

❶ 再生中に

[❚❚] 押す

❷ [◀]　[▶] 押す

◀：戻し方向
▶：送り方向

- 押すたびに 1 コマずつ再生します。
- 押し続けると、連続コマ戻し／コマ送りになります。
- ［❚❚］を押しても、1 コマずつコマ送りできます。

■通常再生に戻すには
［▶］を押す。

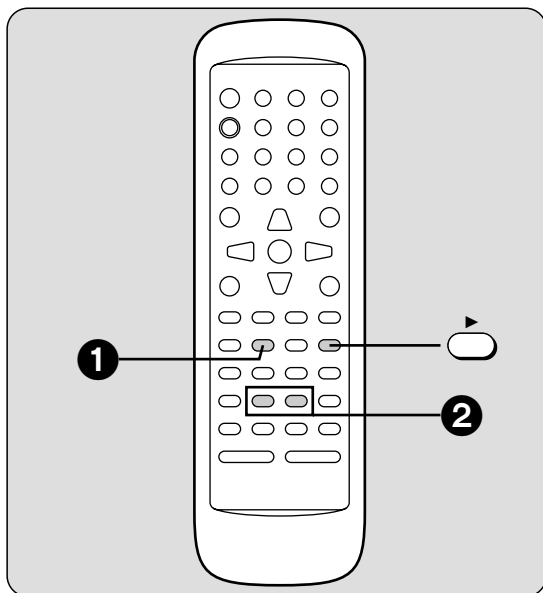
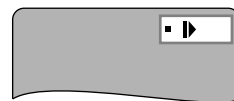
お知らせ
ビデオ CD では、コマ戻し再生はできません。

リモコンのみ　スロー再生

DVD　VCD

❶ 再生中に

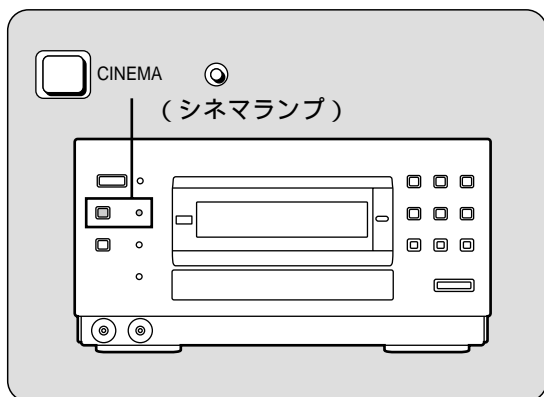
[❚❚] 押す

❷ スロー/サーチ [◀◀]—[▶▶] 押す

◀◀：戻し方向
▶▶：送り方向

速度は 5 段階あり、押すたびに早くなります。

■通常再生に戻すには
［▶］を押す。

お知らせ
ビデオ CD では、戻し方向のスロー再生はできません。

映画鑑賞に適した画面にする（シネマモード）

お知らせ
シネマモード「入」になっていると、CD 再生中でもシネマランプが点灯しています。
「切」にするには、DVD またはビデオ CD を再生して、［CINEMA］を押してください。

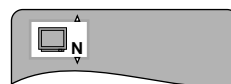
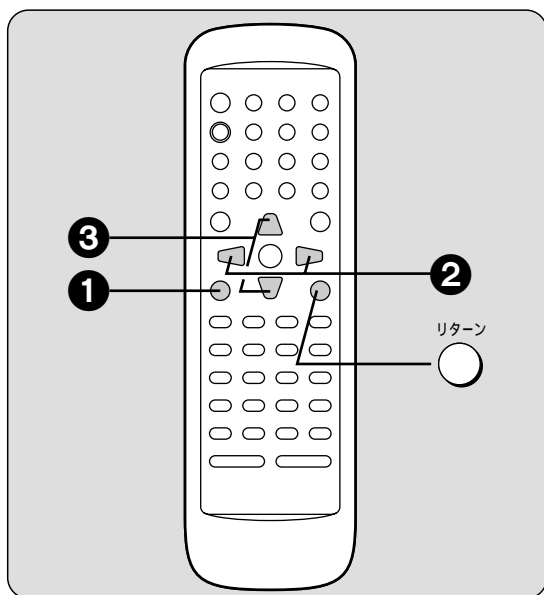
DVD **VCD**

ブラウン管テレビ特有のギラギラした感じが抑えられ、しっとりしたやさしい映像になります。また暗部の輪郭が明確になり、暗くて見えにくい場面でも、人物などが見えやすくなります。

押す

シネマランプが点灯します。

■元の画質に戻すには

［CINEMA］を押す。
シネマランプが消灯します。

リモコンのみ　セリフの音量をあげる（ダイアログエンハンサー）

■元の音量に戻すには

手順 3 で［切］を選ぶ。

■ GUI 画面を消すには

［リターン］を押す。
または GUI 画面が消えるまで、［画面表示］を数回押す。

DVD

迫力ある効果音の入っている映画などで、セリフが聞き取りやすくなります。
センターチャンネルにセリフが入っている、ドルビーデジタル 3 チャンネル（➪ 54 ページ）以上で記録された DVD で働きます。

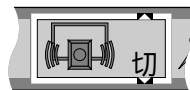
1 再生中に

2 回押す

テレビに GUI 画面（本機の情報画面）（➪ 27 ページ）が表示されます。

切　切　*****　N

2 ◄ ► **押して**

ダイアログエンハンサーの絵表示を選ぶ

3 ▲ ▼ **押して**

「入」を選ぶ

リモコンのみ　好みの場所を記憶する

DVD **VCD** **CD**

もう一度見たい（聞きたい）場面にマーカーをつけておいて、いつでもそこから再生することができます。マーカーは5つまでつけられます。

マーカーをつける

1 再生中に

マーカー **押す**

2 マーカーをつけたい場所で

決定 **押す**

2 ケ所以上マーカーをつける時は

3 **押して**

カーソルを移動させ、“ * ” を選ぶ

4 マーカーをつけたい場所で

決定 **押す**

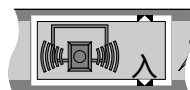
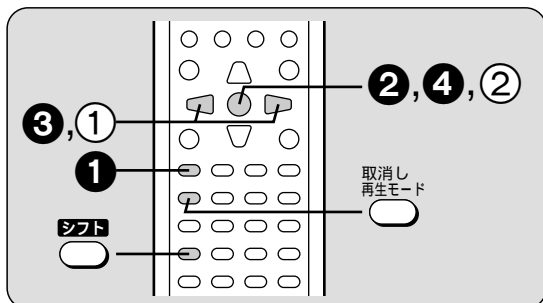
マーカーの場所から再生する

① マーカー画面表示中に

1234*

  押して

マーカー番号を選ぶ

② 決定 **押す**

■マーカーを消すには

1.カーソルボタン［◀］、［▶］を押して、マーカー番号を選ぶ。

2.［シフト］を押しながら、[取り消し]を押す。

■マーカー画面を消すには

［マーカー］を押す。

お知らせ

- 再生中に表示窓に時間表示の出ないディスクでは、マーカー機能が使えません。
- プログラム再生（➪ 25 ページ）、ランダム再生（➪ 26 ページ）中は、マーカー機能が使えません。
- マーカーをつけた場所によっては、しばらく字幕が表示されないことがあります。
- 次のようなときには、マーカーの記録が消えます。
  - 電源を切ったとき
  - ディスクトレイを開けたとき
  - ラジオや外部機器に切り換えたとき

リモコンのみ　メニューを使って再生する

DVD

再生中にメニュー画面に切り換えて、他のタイトル／チャプターの再生を始めることができます。

メニュー画面の出し方や選び方はディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

1 トップメニュー CH選択 **または** メニュー **押す**

メニュー画面が表示されます。

2   **押して**

項目を選び、

▼

 押す

数字ボタンで選べるディスクもあります。

お知らせ

- ディスクによっては手順 1 の後で[トップメニュー]または[メニュー]を押すと、元のタイトル／チャプター再生に戻ることができます。
- [トップメニュー]を押したときと[メニュー]を押したときで、表示されるメニューが異なるディスクもあります。

リモコンのみ　繰り返し再生する（リピート再生）

DVD **VCD** **CD**

再生中に

リピート **押す**

押すたびにモードが切り換わります。

DVD では

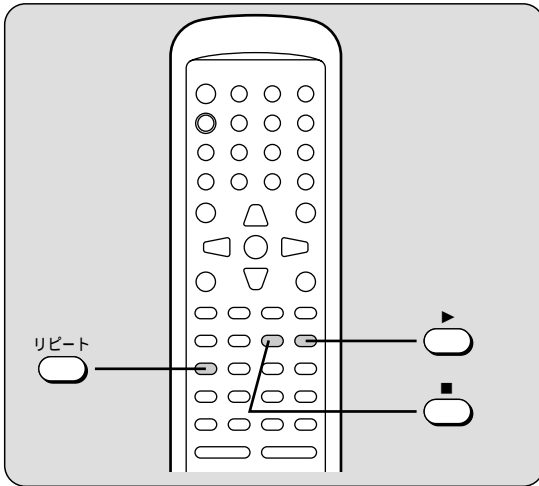
チャプターリピート
再生中のチャプターを繰り返します。

タイトルリピート
再生中のタイトルを繰り返します。

通常再生

VCD **CD** では

トラックリピート
再生中のトラックを繰り返します。

オールリピート
再生中のディスクの全曲を繰り返します。

通常再生

■通常再生に戻すには

［リピート］を押して、“ REPEAT OFF ”を選ぶ。
リピート再生中に［■］を押しても、リピートモードが解除されます。

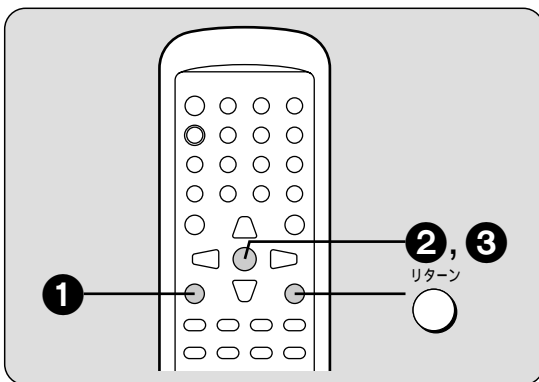
お知らせ

再生中に表示窓に時間表示のでないディスクでは、リピート機能が使えません。

好みの曲だけを繰り返すには

VCD **CD**

① 好みの曲をプログラム（➪ 25 ページ）する。
② ［▶］を押して、再生を始める。
③ ［リピート］を押して、“ ALL REPEAT ”を選ぶ。
- ランダム再生（➪ 26 ページ）とリピート機能を組み合わせて使うこともできます。

リモコンのみ　好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

DVD

2 点（開始地点と終了地点）を指定して、その間を繰り返し再生することができます。

❶ 再生中に

テスト画面表示 **2 回押す**

テレビに GUI 画面（本機の情報画面 ➪ 27 ページ）が表示されます。

❷ 繰り返しを始める場所で

決定 **押す**

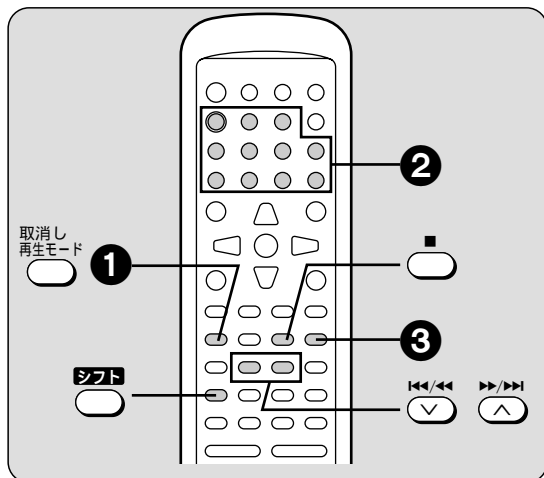
（開始地点 A を指定します）

❸ 繰り返しを終える場所で

決定 **押す**

（終了地点 B を指定します）

リモコンのみ

好みのトラックを予約順に再生する（プログラム再生）

- PBC 付きのビデオ CD でも、各トラックごとに予約することができます。
- リピート機能（➪ 24 ページ）とプログラム再生を組み合わせて使うこともできます。

お知らせ

- “ PGM FULL ” が表示窓にでたときはすでに 24 曲予約されています。それ以上の予約はできません。
- プログラム再生モードでは、予約順にスキップします。
- プログラム再生中は、再生中のトラックの中でだけ、早戻し／早送りできます。

VCD CD

好みのトラックだけを（最大 24 曲まで）好みの順で再生します。

ディスクモードで停止中に

❶ 取消し 再生モード 押して

“ PGM ” を選ぶ

CD 0 PGM

押すたびに
PGM ⟶ RANDOM
└元の表示←┘

❷ 押して

トラックを選ぶ

トラック番号 予約順

CD 2–– 1 PGM

10 以上のトラックを選ぶには
［≥10］を押してから、数字ボタンを押す。
（例）トラック 10 ：[≥10]→[1]→[0]

手順 2 を繰り返して、再生する曲を順に予約します。

❸ ▶ 押して、再生を始める

■通常の再生に戻すには

停止中に［再生モード］を押して、“ PGM ” を消す。予約内容は記憶されています。次にプログラム再生モードにしたときは、同じ内容で再生できます。

■予約を確認するには

停止中に[∨、⏮/◀◀]、[∧、▶▶/⏭]を押す。押すたびに 1 トラックずつ、トラック番号と予約順が表示されます。

■予約を追加するには

（続き再生メモリー機能が働いているときは、［■］を押して解除してください。）
停止中に数字ボタンを押してトラックを選ぶ。

■予約を取り消すには

停止中（続き再生メモリー機能が働いているときは、［■］を押して解除してください。）
最後に予約した曲を取り消すとき：
［シフト］を押しながら［取り消し］を押す。
全曲を取り消すとき：
［■］を押す。（プログラム再生モードが解除されます。）

■通常の再生に戻すには

［決定］を押す。

■ GUI 画面を消すには

［リターン］を押す。
または GUI 画面が消えるまで［画面表示］を数回押す。

お知らせ

- 再生中に表示窓に時間表示のでないディスクでは、A-B リピート機能は使えません。
- 開始地点 A を指定した後、再生中のタイトルが終了すると、タイトルの最後が自動的に終了地点 B に指定されます。
- 開始地点 A、終了地点 B の付近の字幕が表示されないことがあります。

リモコンのみ　順不同に再生する（ランダム再生）

VCD　CD

本機におまかせの順番で再生します。

ディスクモードで停止中に

1. 取消し 再生モード 押して
“RANDOM”を選ぶ

RANDOM
RANDOM
押すたびに
PGM→RANDOM
└元の表示←┘

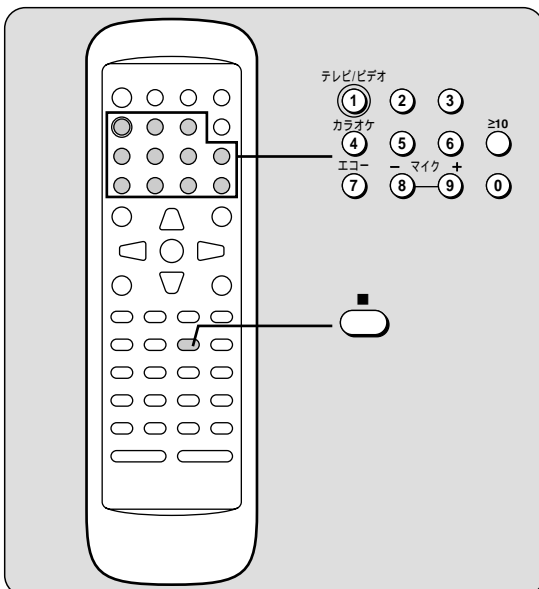
2. ▶ 押して
再生を始める

■通常再生に戻すには

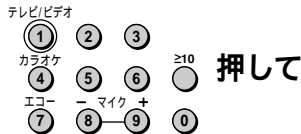
停止中に［再生モード］を押して、“RANDOM”を消す。

お知らせ

- ランダム再生中は、前の曲にスキップできません。
- ランダム再生中は、再生中のトラックの中でだけ、早戻し／早送りできます。
- PBC付きのビデオCDのときは、メニュー再生が自動的に解除され、ランダム再生されます。
- リピート機能（➪ 24ページ）とランダム再生を組み合わせて使うこともできます。
  ①［再生モード］を押して、“RANDOM”を選ぶ。
  ②［▶］を押して、再生を始める。
  ③［リピート］を押して、“ALL REPEAT”を選ぶ。

リモコンのみ　好きなトラックから再生する

VCD　CD

ディスクモードのときに

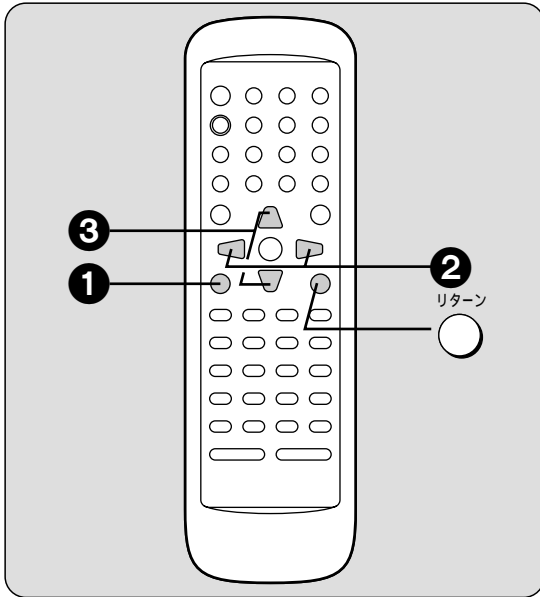
テレビ/ビデオ 1 2 3　カラオケ 4 5 6 ≧10　エコー 7　– マイク + 8 9 0　押して

CD　2　0:01
トラック番号

トラックを選ぶ

10以上のトラックを選ぶには
［≧10］を押してから、数字ボタンを押す。
（例）トラック10：［≧10］→［1］→［0］

- PBC付きビデオCDのときは、［■］を押してから数字ボタンでトラックを選ぶと、メニュー再生を解除し、そのトラックから再生を始めます。
（この機能が働かないディスクもあります。）

絵表示（GUI画面）を見ながら操作する

リモコンのみ

- 各絵表示の変更操作は、一部異なるものがありますので、28、29ページを参照してください。
- タイトルやチャプターの絵表示など、設定の変更後にGUI画面が消えるものもあります。
- GUI画面の一部が欠けたり、表示されなかったりするときは、初期設定画面（➪47、48ページ）で、“4 オンスクリーン”の設定を変更してください。

■ GUI画面を消すには

［リターン］を押す。
またはGUI画面が消えるまで［画面表示］を数回押す。

DVD

GUI（Graphical User Interface）とは「画面を見ながら絵表示を使って操作ができる」ことを意味し、本書では、ディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI画面」と呼びます。情報を見ながら内容を変更することにより、さまざまな操作ができます。

1 テスト 画面表示 **押す**

GUI画面が表示されます。
押すたびに次のように画面が切り換わります。

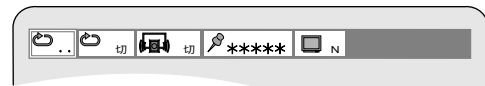
ディスク情報画面

チャプター/タイトルを選んだり、音声/字幕/アングルを変更したりできます。

▼

本機の情報画面

リピート再生にしたり、好みの場所にマーカーを付けたりすることができます。
また、画質を切り換えたり、セリフの音量を上げたりすることもできます。

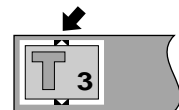
▼

シャトル画面

早送り／早戻しや、スロー再生などができます。

▼

（GUI画面なし）

2 ◄ ► **押して**
絵表示を選ぶ

3 ▲ ▼ **押して**
設定を切り換える

このマークが出ると切り換えられます。

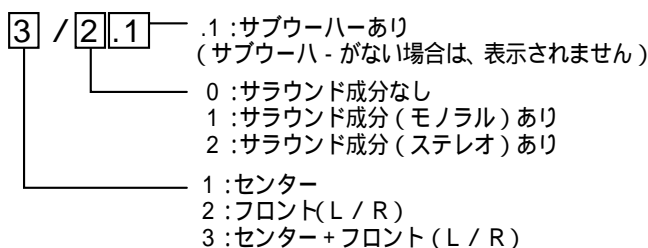
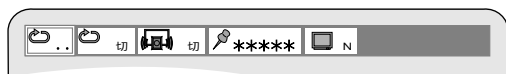
絵表示（GUI画面）を見ながら操作する（つづき）

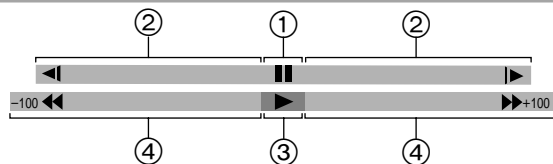
ディスク情報画面の絵表示

T1 C30 1:56:37 1 英 LPCM 48k 16b 1 入 英 1

表示	内容	操作
T1	**タイトル番号**	▲ ▼ または数字ボタンを押して番号を選び 決定 を押す
C1	**チャプター番号**	▲ ▼ または数字ボタンを押して番号を選び 決定 を押す
1:56:37	**経過時間** 数字ボタンで時間を指定すると、そこから再生が始まります。	数字ボタンで時間を指定して 決定 を押す
ⓐ ⓑ LPCM 1 英 48k 16b ⓒ ⓓ	ⓐ **音声の番号** 言語の略称は右下の表を参照してください。	▲ ▼ または数字ボタンを押して番号を選ぶ
	ⓑ **信号の種類** LPCM（リニアPCM➪54ページ）、DDDigital（ドルビーデジタル）、DTS ⓒ **サンプリング周波数、チャンネル数**※（➪54ページ） LPCMのディスクでは：　48 k Hzまたは96 k Hz DDDigitalのディスクでは：　1 c h～5.1 c h ⓓ **ビット数** 16ビット、20ビット、24ビット（LPCMのディスクのみ） 変更することはできません	
Vocal 1＊ V1 ＋ V2 ⓔ	ⓔ **ボーカルの入／切** ソロディスクでは： ---（切）または入 デュエットディスクでは： ---（切）、V1+V2、V1、V2	**カラオケ用DVDのみ** ▲ ▼ を押す
ⓕ ⓖ 入 1 英	ⓕ **字幕の番号** 言語の略称は右下の表を参照してください。	▲ ▼ または数字ボタンを押して番号を選ぶ
	ⓖ **字幕の入／切**	▲ ▼ を押す
1	**アングルの番号**	▲ ▼ または数字ボタンを押して番号を選ぶ

- ディスクによっては一部使用できない機能もあります。

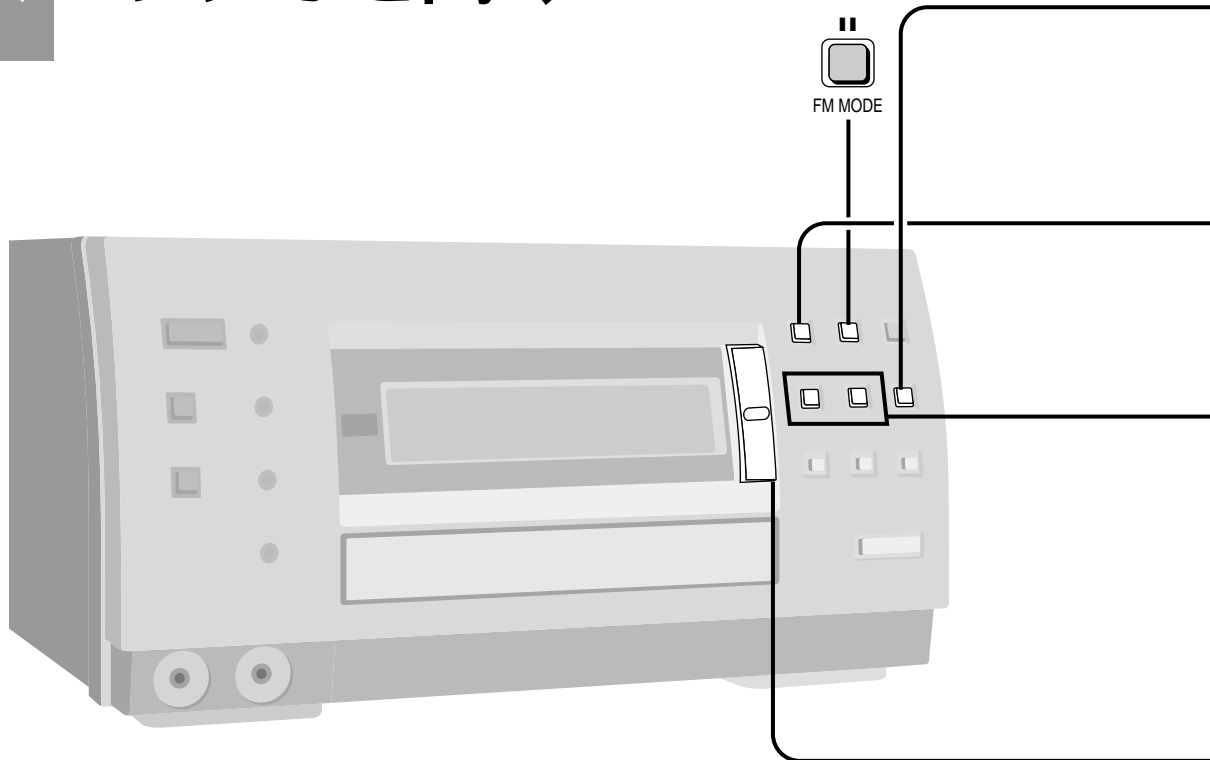
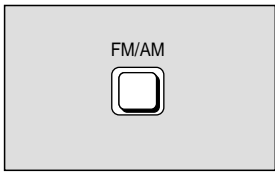
※ GUI画面ではチャンネル数は下のように表示されます。

本機の情報画面の絵表示

表示	内容	操作
..	**A-B リピート再生**	決定を押して 開始地点 A→終了地点 B→解除
切	**リピートモードの選択** C：チャプターリピート T：タイトルリピート 切：通常再生	▲ ▼を押す
切	**ダイアログエンハンサー入／切**	▲ ▼を押す
決定を押して絵表示を選んでください ＊＊＊＊＊	**マーカーを付ける**	決定を押す
	マーカーを呼び出す	◀ ▶を押してマーカーを選び 決定を押す
	マーカーを消す	◀ ▶を押してマーカーを選び シフトと取消し 再生モードを同時に押す
N	**シネマモード入／切** C：入　　N：切	▲ ▼を押す

シャトル画面

内容	操作
① **一時停止**	▲を押す
② **スロー再生** ◀I：戻し方向　I▶：送り方向 5 段階で速さを調節できます。	▲を押して一時停止し、◀ ▶を押す
③ **通常再生**	▼を押す
④ **早戻し／早送り** ◀◀：戻し方向　▶▶：送り方向 5 段階で速さを調節できます。	◀ ▶を押す

言語の略称

日：日本語	**中**：中国語	**独**：ドイツ語	**西**：スペイン語
英：英語	**蘭**：オランダ語	**韓**：韓国語	＊：その他
仏：フランス語	**露**：ロシア語	**伊**：イタリア語	

ラジオを聞く

FM MODE

1

押して

“ＦＭ”または“ＡＭ”を選ぶ

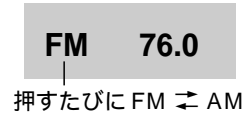
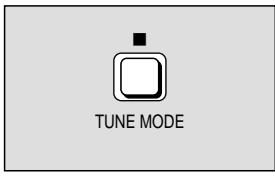
電源が入り、ラジオに切り換わります。**（ワンタッチプレイ）**

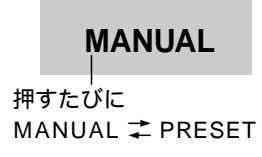
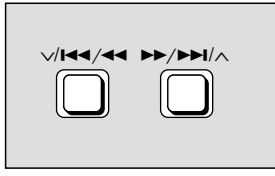
FM　76.0

押すたびに FM ⇄ AM

2

押して

“MANUAL”を選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

3

押して

周波数を選ぶ

押し続けると、周波数が連続して変わります。周波数が動き出したら、ボタンを離してください。放送局を受信すると、周波数が止まります。

（オートチューニング）

合わせたい周波数が近づいたら、ポンポンと押して調節することもできます。

FM　82.5 ST TUNED

ST:FM ステレオ放送を受信すると点灯

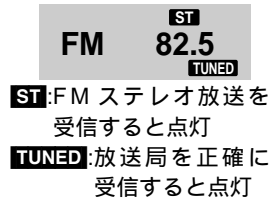
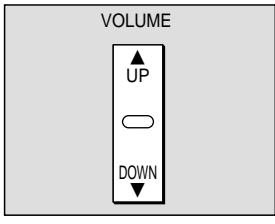
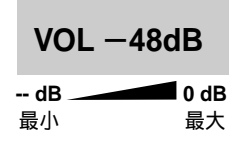
TUNED:放送局を正確に受信すると点灯

4

押して

音量を調節する

VOL −48dB

-- dB 最小　0 dB 最大

■FM ステレオ放送で雑音が多いときは ⇨

押す

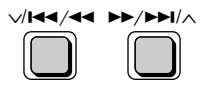
モノラルになります。

FM　82.5 MONO TUNED

押すたびに
MONO ←→ 消灯
（強制モノラル）（自動判別）

通常は“消灯”にしておきます。
元に戻すには、もう一度［FM MODE］を押す。

■TV 音声 1 〜 3ch を聞くには ⇨

押して、“FM”を選び、

選局する

TV 音声 1 〜 3ch の受信位置について

95.7 MHz—TV1ch— 95.8 MHz
101.7 MHz—TV2ch—101.8 MHz
107.7 MHz—TV3ch—107.8 MHz

お知らせ

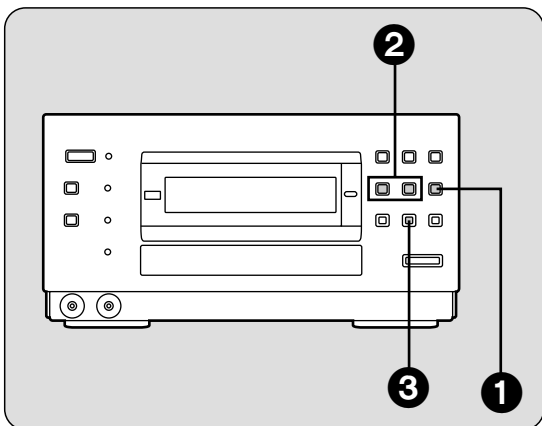
- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。(⇨ 43 ページ)
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに周波数が止まることがあります。

•本機の TV 受信回路について

FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに FM 放送が混信することがあります。

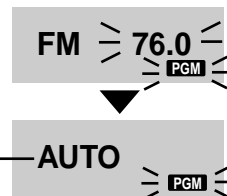
放送局を記憶させる

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
  放送局を記憶させるには、次の２つの方法があります。
  オートメモリー：　受信した放送局を順に記憶します。
  マニュアルメモリー：好みの放送局だけを記憶させることができます。
- FM、AMとも、12局ずつ記憶させられます。

オートメモリー

FM、AMそれぞれに操作してください。

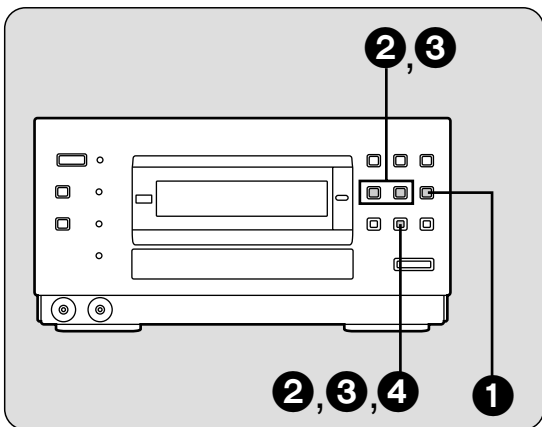
❶ FM/AM 押して
"FM"または"AM"を選ぶ

❷ ∨/⏮/◀◀　▶▶/⏭/∧ 押して
オートメモリーを始める周波数に合わせる

❸ MEMORY 押し続ける

表示されたらボタンを離す。
受信した順番に記憶していきます。
一番高い周波数で停止します。

マニュアルメモリー

- すでに放送局を記憶しているチャンネルを選ぶと、以前の放送局は削除されます。

■続けて記憶させるには
手順❶～❹を繰り返す。

❶ FM/AM 押して
"FM"または"AM"を選ぶ
（TV音声受信時は"FM"）

❷ MEMORY 押す
▼
∨/⏮/◀◀　▶▶/⏭/∧ 押して
周波数を選ぶ

❸ MEMORY 押す
▼
∨/⏮/◀◀　▶▶/⏭/∧ 押して
チャンネルを選ぶ
リモコンの数字ボタンで選ぶこともできます。

❹ MEMORY 押す

記憶させた放送局を聞く（プリセットチューニング）

リモコンで

❶ FM/AM 押して

“ FM ” または “ AM ” を選ぶ

（TV 音声受信時は “ FM ”）

FM　76.0

押すたびに FM ⇄ AM

❷ ⏮/◀◀ ∨　▶▶/⏭ ∧ または テレビ/ビデオ 1 2 3 カラオケ 4 5 6 エコー 7 － マイク ＋ 8 9 0 ≥10 押して

チャンネルを選ぶ

CH　2

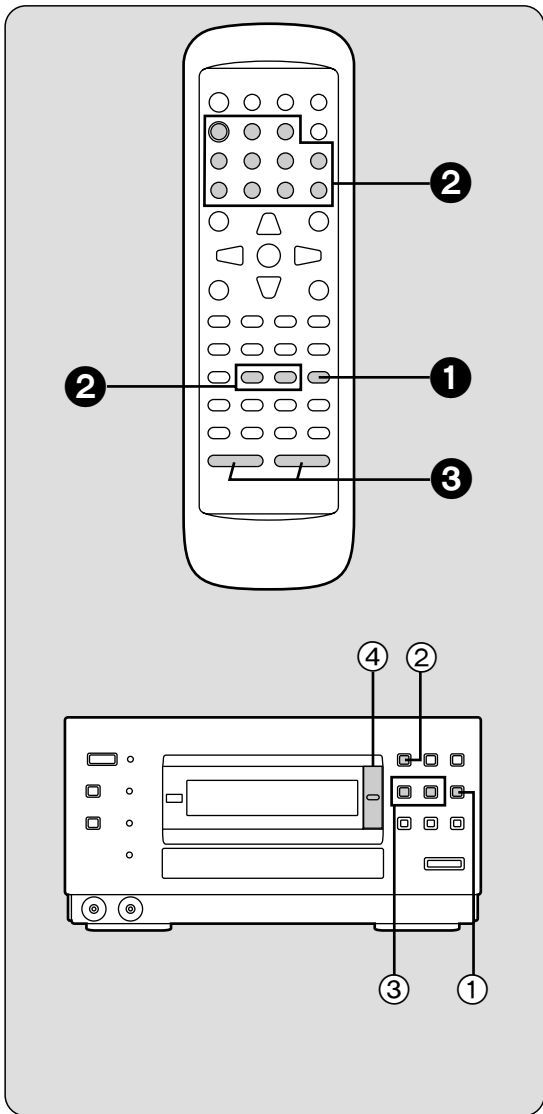
チャンネル

数字ボタンでチャンネル 10 以上を選ぶには［≥10］を押してから、数字ボタンを押す。
（例）チャンネル 12 ：
　［≥10］→［1］→［2］

❸ 音量 － ＋ 押して

音量を調節する

■本体でもできます

① ［FM/AM］を押して、
“ FM ” または “ AM ” を選ぶ。
押すたびに FM⇄AM
② ［TUNE MODE］を押して、
“ PRESET ” を選ぶ。
押すたびに MANUAL⇄PRESET
③ ［∨/⏮/◀◀］または［▶▶/⏭/∧］を押して、チャンネルを選ぶ。
④ ［VOLUME ▲UP、▼DOWN］を押して、音量を調整する。

音場効果を出す

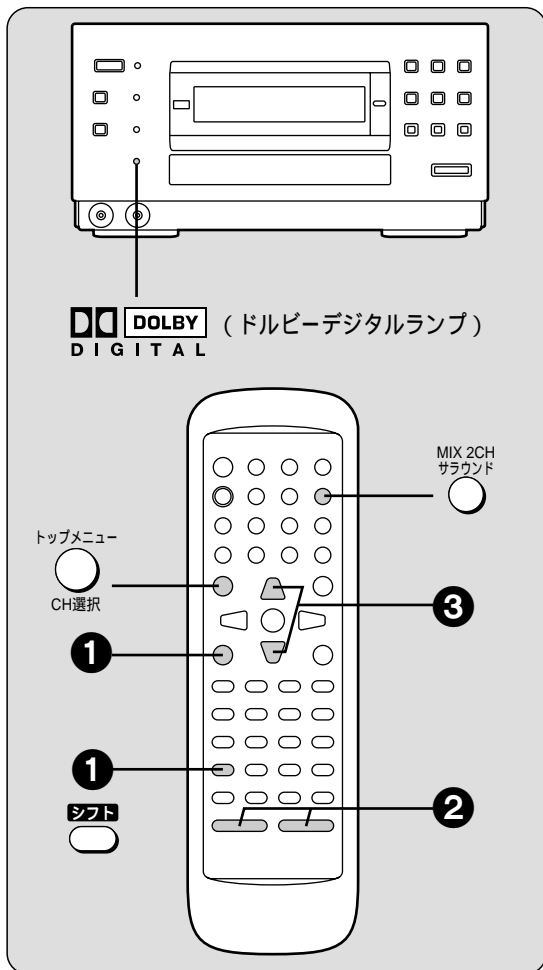
本機の音場効果について

お知らせ

- どの効果もスピーカーで聞くときのみ使えます。ヘッドホンを接続しているときは、使えません。
- 音場効果を使用していて急に音質が悪くなったときは、効果を「切」にしてください。

種　類	特　徴	ソフト
Dolby Digital（ドルビー デジタル） (➪ 35 ページ)	• ディスクリート 5.1（6）チャンネル方式を用いた映画館用デジタルサラウンド方式のひとつです。 音声信号を 1/10 のサイズに圧縮して、1 枚の DVD に記録しています。 • DVD に Dolby Digital の信号が入っている場合は、本機は自動で判別します。 • すべての Dolby Digital の DVD が、5.1（6）チャンネルで記録されているわけではありません。2 チャンネルで記録されたものもあります。	下記のマークがついた DVD DOLBY DIGITAL
SUPER SURROUND（スーパー サラウンド）(➪ 36 ページ) — MOVIE（ムービー）	• Dolby Digital 以外の方式で記録された映画ソフトにサラウンド効果を与えます。 • サラウンドスピーカーの音を調節して、サラウンド効果をより高めることができます。	どのソースでも可能。 モノラルのソースでは、サラウンドスピーカーから音が出ません。
SUPER SURROUND（スーパー サラウンド）(➪ 36 ページ) — MUSIC（ミュージック）	ステレオ録音された音楽ソースにサラウンド効果を与えます。	

ドルビーデジタルを楽しむ

ディスクを再生してください。
Dolby Digital（➪ 54 ページ）**の信号がある場合は、Dolby Digital ランプが点灯します。**

MIX 2 ch にする

リモコンのみ

Dolby Digital などの 5.1 チャンネルの音声を 2 チャンネルに集約して、フロントスピーカーから出力します。

［シフト］を押しながら
［MIX 2ch］を押す。

MIX 2CH

■元のチャンネル数に戻すには

もう一度［シフト］を押しながら［MIX 2CH］を押す。

各スピーカーの調節

リモコンのみ

実際にソフトを再生してみて、各スピーカーの音にばらつきがあると感じる場合は、視聴する位置に座って、全てのスピーカーからの出力が同じになるように調節してください。

準備
- スーパーサラウンド（➪ 36 ページ）が「切」になっていることを確認する。
- ヘッドホン、マイクを抜く。

ディスクモードで停止中に

❶ シフト **押しながら** テスト画面表示 **押して**

テスト信号を出力させる

次の順序で各スピーカーから出力されます。
Lch：フロント左スピーカー
Cch：センタースピーカー
Rch：フロント右スピーカー
RSch：サラウンド右スピーカー
LSch：サラウンド左スピーカー
サブウーハーからは出力されません。

（Lch から出力時）

TEST　Lch

❷ 音量 −　+ **押して**

通常聞く音量にする

❸ ▲ ▼ **押して**

各スピーカーの音が同じになるように調節する

テスト信号を出力しているスピーカーのレベルが調節されます。

Cch　+1dB

−6 dB〜+6 dB の間で調節できます。

■テスト信号を止めるには

［シフト］を押しながら［テスト］を押す。

お知らせ

CD やビデオ CD がディスクトレイに入っているときは、テスト信号の出力はできません。

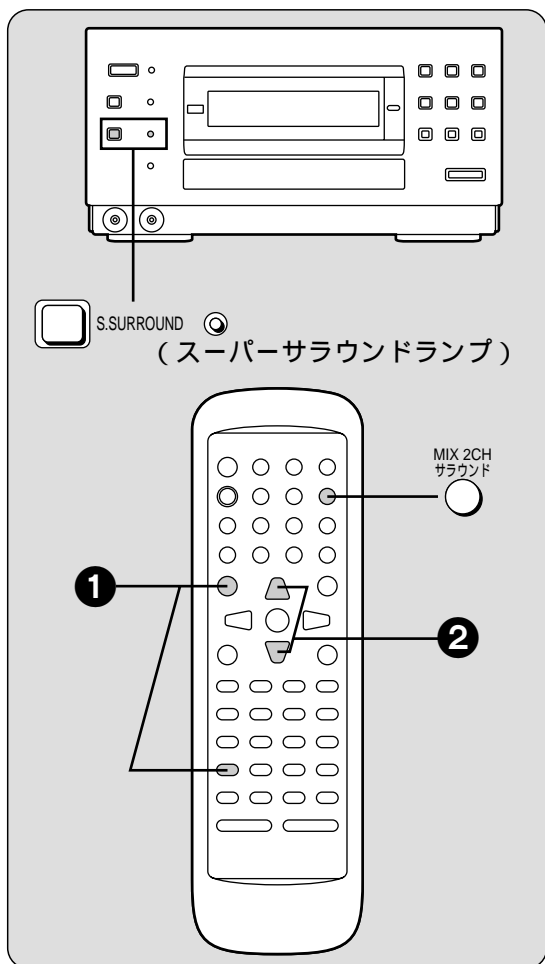
■各スピーカーを個々に調節するには

① DVD 再生中に［シフト］を押しながら、［CH 選択］を押して、スピーカーを選ぶ
押すたびに
Lch→Cch→Rch→RSch→LSch→SWch
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿｜

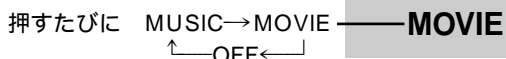
SWch：サブウーハー
　サブウーハーを接続しているときのみ調節してください。

② カーソルボタン［▲］、［▼］を押して、音量を調節する。

音場効果を出す（つづき）

スーパーサラウンドを楽しむ

 押して

“ MUSIC ” または “ MOVIE ” を選ぶ
スーパーサラウンドランプが点灯します。
リモコンでは、[サラウンド]を押す。

押すたびに　MUSIC→MOVIE→OFF→MUSIC

MOVIE

■スーパーサラウンドを解除するには
[S.SURROUND]を押して、“ OFF ” を選ぶ。
スーパーサラウンドランプが消灯します。

お知らせ
カラオケモード「入」のときは、スーパーサラウンド効果を使用することはできません。

5.1 チャンネルの Dolby Digital で記録された DVD を再生中はスーパーサラウンドは「切」にしておいてください。サラウンド効果が正しく実現されません。

サラウンドスピーカーの調節

リモコンのみ

“ MOVIE ” 選択時に調節の効果が現れます。

スーパーサラウンド「入」のときに

❶ シフト 押しながら トップメニュー／CH選択 押す

Sch　0dB

❷ ▲ ▼ 押して
音量を調節する
−6 dB〜+6 dB の間で調節できます。

Sch　+1dB

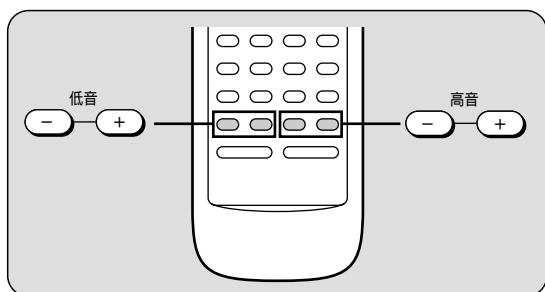
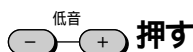
リモコンのみ　高音／低音を調節する

高音を調節する

高音 − + 押す

TREBLE　+1

低音を調節する

低音 − + 押す

BASS　+1

−4 〜 +4 の間で調節できます。

カラオケを楽しむ

カラオケを楽しむソースについて

DVD

カラオケ用の DVD にはいくつかの種類があります。

- 例 1 のように、カラオケ用の成分が各チャンネルに分けて記録されているディスク

  例 1

音声番号 1	
1ch	ステレオ伴奏（左）
2ch	ステレオ伴奏（右）
3ch	ガイドメロディー
4ch	模範歌唱 1
5ch	模範歌唱 2

  本書ではこのようなディスクをマルチチャンネルカラオケ DVD と呼びます。
  ➪ 38 ページの方法で操作してください。

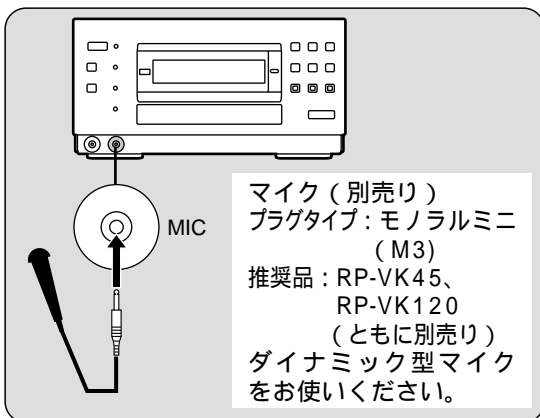
- カラオケ用の音声とボーカル入りの音声が別に記録されているディスク
  ［音声］を押して切り換えます➪ **20 ページ**
- ボイスミュートを使ってカラオケを楽しめるディスクもあります。➪ **39 ページ**

ビデオ CD、CD、AUX（外部機器）

➪ 39 ページの方法で操作してください。

ラジオでカラオケをすることはできません。

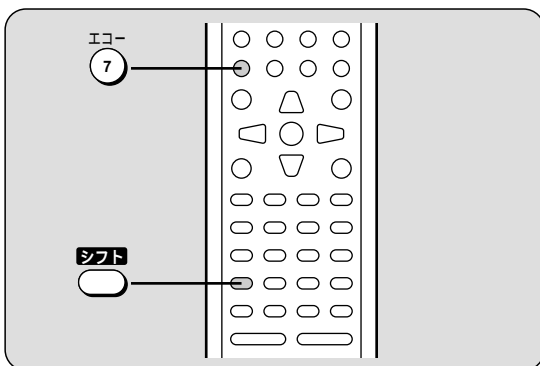
準備

マイク（別売り）
プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
推奨品：RP-VK45、RP-VK120（ともに別売り）
ダイナミック型マイクをお使いください。

- 本機の電源を入れる。
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせて入力を切り換える。（ビデオ 1 など）
- マイクの音量を下げてから、マイクを［MIC］ジャックに接続する。
  マイクを接続すると、自動的にステレオ 2 チャンネルになります。

お知らせ

- マイク使用中に雑音がする場合は、マイクをスピーカーから離してください。または、マイク音量を下げてください。
- マイクを使用しないときは、マイク音量をレベル 1 まで下げてください。

エコーをかける

リモコンのみ

カラオケを楽しむときに、声にエコーをかけることができます。どのソフトでカラオケを楽しむときでも使えます。

シフト 押しながら エコー 7 押して

レベルを選ぶ

押すたびに

ECHO1 ⟶ ECHO2 ⟶ ECHO3
↑— 元の表示 ⟵ ECHO4 ⟵┘

■解除するには

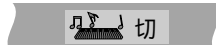
［シフト］を押しながら［エコー］を押して、“ ECHO ” を消す。

リモコンのみ　マルチチャンネルカラオケ DVD で楽しむ

ガイドメロディーを使う

ディスクにガイドメロディー（ボーカル部のメロディーライン）が記録されている場合は、この機能を使ってメロディーの音量を上げ、それに合わせて歌うことができます。
この機能が使えない DVD もあります。

① 再生中に
［シフト］を押しながら［カラオケ］を押す。
テレビにカラオケ用 GUI 画面が表示されます。

② カーソルボタン［◀］、［▶］を押して、
ガイドメロディーの絵表示を選ぶ。

③ カーソルボタン［▲］、［▼］を押して、
モードを選ぶ。

1

1：「入」小さめの音量のメロディー
2：「入」大きめの音量のメロディー
切：「切」

❶ 押してトレイを開け、
ディスクを入れる（➪ 16 ページ）

❷ 再生が始まらないときは
▶ **押して、再生を始める**

❸ 音量 − + **押して、**
スピーカー音量を調節する
シフト **押しながら** マイク − 8 9 + **押して、**
マイク音量を調節する
マイク音量はレベル 1 ～レベル 7 の範囲で調節できます。

■カラオケ用 GUI 画面を消すには

［シフト］を押しながら、［カラオケ］を押す。
［リターン］を押して消すこともできます。

ボーカルモードを切り換えるには

模範歌唱を入／切したり、本機とデュエットをしたりすることができます。

① 再生中に
［シフト］を押しながら［カラオケ］を押す。
テレビにカラオケ用 GUI 画面が表示されます。

切 ---

GUI 画面が表示されない場合は、20 ページまたは 39 ページの方法で操作してください。

② カーソルボタン［◀］、［▶］を押して、
ボーカル選択の絵表示を選ぶ。

③ カーソルボタン［▲］、［▼］を押して、
モードを選ぶ。

入

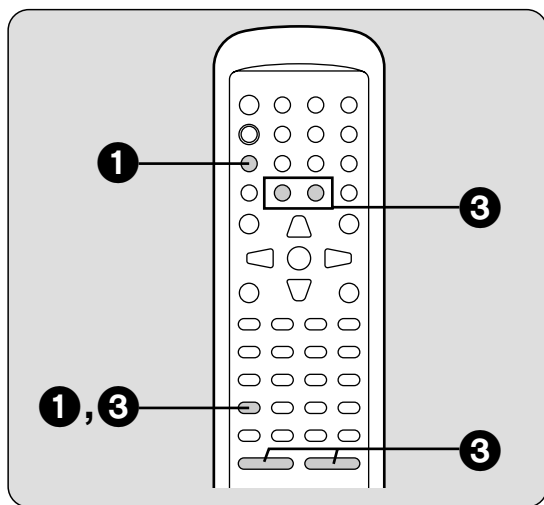
ソロ
---：ボーカル「切」
入：ボーカル「入」

デュエット
---：ボーカル「切」
1+2：ボーカル 1、2「入」
V 1：ボーカル 1「入」
V 2：ボーカル 2「入」

“ --- ” を選ぶとカラオケができます。
“ V1 ” または “ V2 ” を選ぶとひとりでもデュエットを楽しむことができます。

リモコンのみ

ビデオ CD、CD などで楽しむ

このページの操作でカラオケを楽しめる DVD もあります。

■カラオケモードを解除するには

［シフト］を押しながら［カラオケ］を押して、“ KARAOKE ”を消す。

お知らせ

カラオケモードのときは、スーパーサラウンド効果を使用することができません。

ボイスミュートについて

ディスクなどのソフトに入っている歌声の音量を小さくします。
（歌声が完全に消えるわけではありません。）
次のようなソフトでは、ボイスミュートの効果がなかったり、雑音が聞こえたりします。
- モノラル録音のソフト
- クラシック、詩吟などで、楽器の少ないソフト
- デュエットのソフトやバックコーラスの音量が大きいソフト

1 シフト 押しながら カラオケ 4 押して

モードを選ぶ

押すたびに以下のように切り換わります。

- **ビデオ CD、CD、AUX のとき**

ボイスミュート「入」（小音量のボーカル） KARAOKE V.MUTE
▼
左チャンネルの音声のみ KARAOKE MONO L
▼
右チャンネルの音声のみ KARAOKE MONO R
▼
「切」（左右両チャンネルの音声）

- **DVD のとき**

ボイスミュート「入」（小音量のボーカル） KARAOKE V.MUTE
⇕
「切」（通常の音量のボーカル）

ボイスミュート「入」（V.MUTE）、またはボーカルが入っていないチャンネル（MONO L または MONO R）を選ぶと、カラオケを楽しむことができます。

2 **ソースの再生を始める**

ディスクのとき ➪ 16 ページ
AUX（外部機器）のとき ➪ 44 ページ

3 音量 − + 押して、

スピーカー音量を調節する

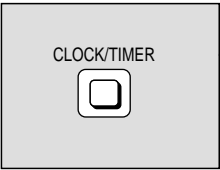
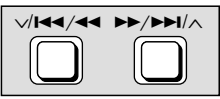
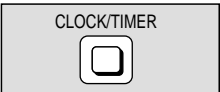
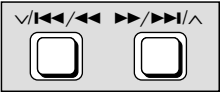
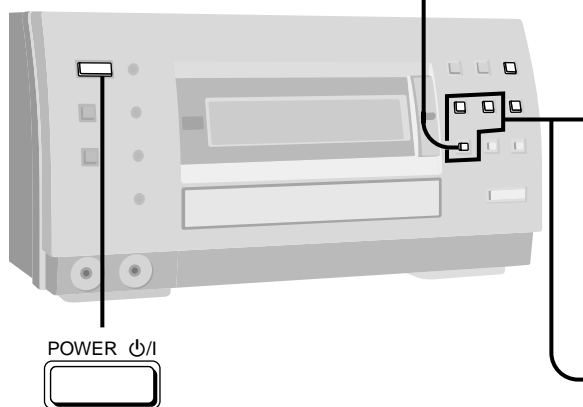
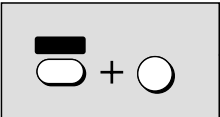
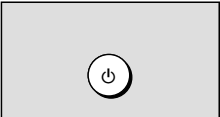
シフト 押しながら マイク − 8 + 9 押して、

マイク音量を調節する

マイク音量はレベル 1 〜レベル 7 の範囲で調節できます。

使いかた

タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

準備：
① **電源を入れる。**
② **時計を合わせる。**（➪13 ページ）
③ **ソース（CD、FM/AM など）を選ぶ。**
④ **タイマー実行時の音量に調節する。**

- 設定した時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- 一度時刻設定をしておくと、ソースを変えるだけで、違うソースで楽しめます。

時刻設定

設定後、元の表示に戻ります。

タイマー実行設定

リモコンのみ

設定した時刻になると、決めた音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。

表示例）６：30～７：40までのタイマー予約

◷PLAY
◷PLAY

押すたびに
CLOCK⟶◷PLAY
↑元の表示」

◷PLAY
ON 6:30

◷PLAY
OFF 6:30

◷PLAY
OFF 7:40

◷PLAY
OFF 7:40

◷PLAY

押すたびに
◷PLAY⇄ 元の表示

■おめざめタイマーを解除するには

［シフト］を押しながら［タイマー再生］を押して、“◷PLAY”を消す。

■タイマー動作する／動作しないを切り換えるには

リモコンの［シフト］を押しながら［タイマー再生］を押すたびに入／切が切り換わります。
“◷PLAY”表示中は、予約通りに毎日動作します。
タイマー「切」（“◷PLAY”消灯）にしても、予約時刻の設定は記憶されています。

■予約内容を変えるには

電源を入れ、最初からやり直す。

■予約した内容を確かめるには

電源「入」時：本体の［CLOCK/TIMER］を押して、“◷PLAY”を選ぶ。
電源「切」時：本体の［CLOCK/TIMER］を押す。

次の順序で予約内容が表示されます。
開始時刻 → 終了時刻 → ソース → 音量

■予約したあとに、本機で演奏を楽しむには

①電源を入れ、通常の演奏操作をする。
②演奏後は、電源を切る。
音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

お知らせ

- 予約した時間までに、必ず電源を切ってください。電源が入っているとタイマーは動作しません。
- タイマーを使ってプログラム再生、ランダム再生をすることはできません。
- タイマー実行中に電源を切／入した場合は、終了時間になっても電源が切れません。

■外部機器をソースにするとき

本機のソースを［AUX］に設定し、外部機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

タイマーを使う（つづき）

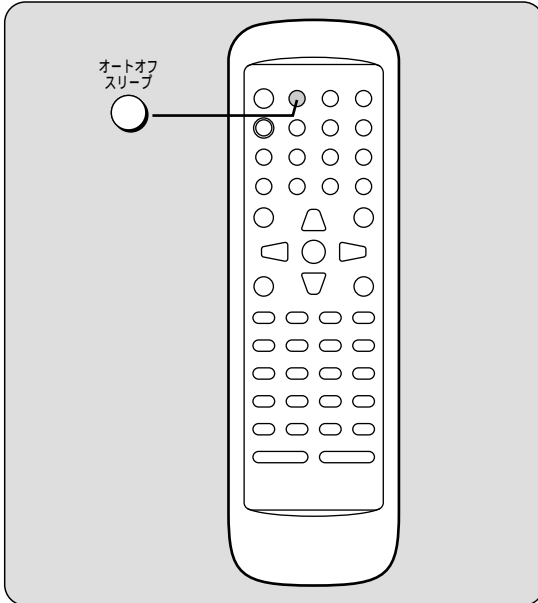
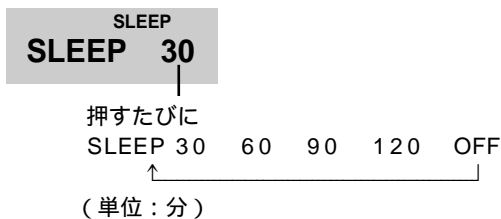
リモコンのみ おやすみタイマーを使う

指定した時間がくると、演奏が停止し、自動的に電源が切れます。

ソースを聞きながら

オートオフ スリープ **押して、演奏時間を指定する**

押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120 → OFF

（単位：分）

■解除するには

［SLEEP］を押して“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

■残り時間を確かめるには

［SLEEP］を 1 回押す。
残り時間が約 5 秒間表示されます。

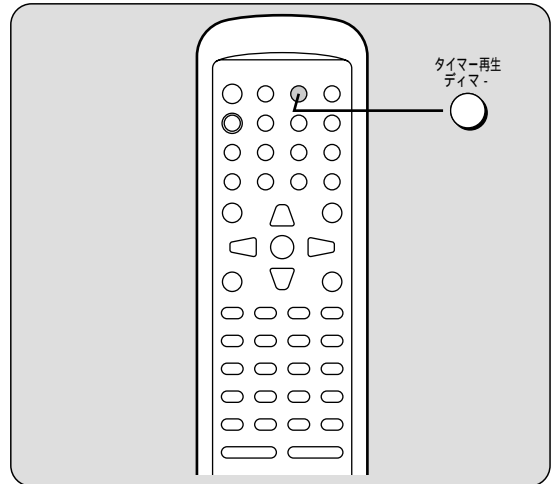
■残り時間を変えるには

［SLEEP］をポンポンと押して、新たに時間を指定する。

お知らせ

おやすみタイマーは、おめざめタイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

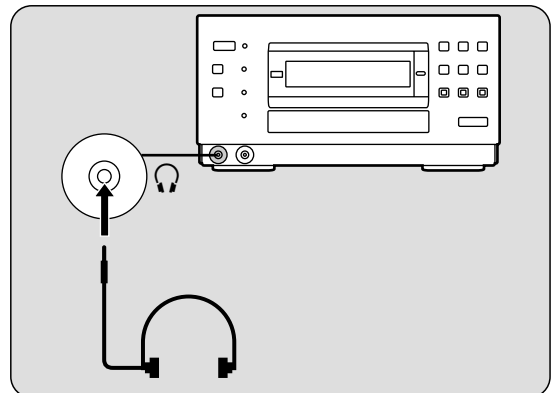
便利な機能

リモコンのみ 表示窓を暗くする

表示窓のシャッターを閉めて、暗くすることができます。
部屋を暗くして映画を楽しむときなどに便利です。

タイマー再生 ディマー **押す**

■元の明るさに戻すには

もう一度［ディマー］を押す。

ヘッドホン（別売り）で聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くことは、避けてください。
- ヘッドホンを接続すると、自動的にステレオ 2 チャンネルになります。
  プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
  推奨品：　RP-HT400、RP-HT242
  （ともに別売り）

リモコンのみ　一時的に消音する（ミューティング）

電話がかかってきたときなどに便利です。

押す

解除するには、もう一度押して“ MUTING ”を消す。

または

- ［音量（–)］を押して“ --dB ”を表示させてから、好みの音量にする。
- 電源を入れ直す。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM（市販のビニール線）

付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

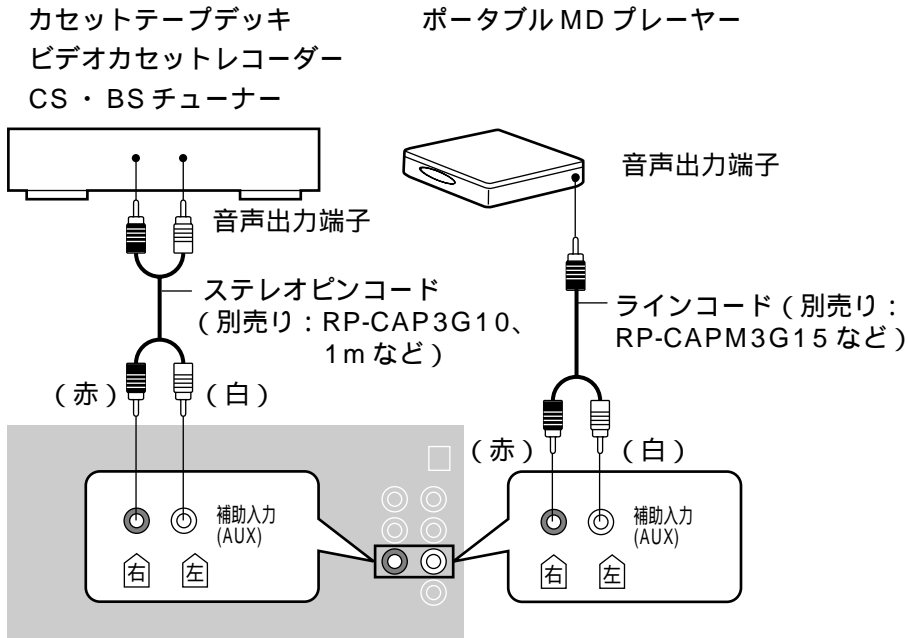
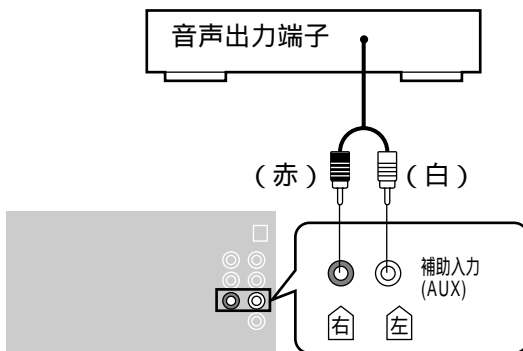
別売り機器を使う

別売り品の品番は、2000年6月現在のものです。品番は変更されることがあります。

別売り機器の音を本機のスピーカーで再生する

別売り機器の演奏を本機のスピーカーを通して聞くことができます。

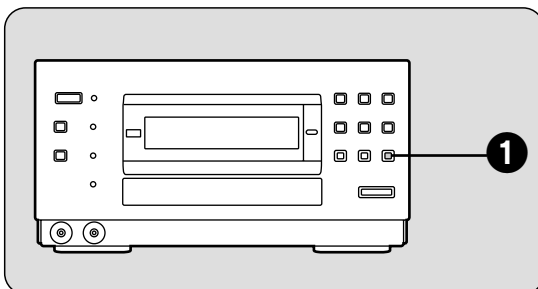
■接続

- **カセットテープデッキ**
- **ビデオカセットレコーダー**
- **CS・BSチューナー**
- **ポータブルMDプレーヤー**

- **アナログプレーヤー**

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。フォノイコライザーを内蔵していない場合は、そのまま接続すると、音が小さくなります。

推奨品：パナソニックレコードプレーヤー
SL-J8
（フォノイコライザー内蔵）

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。

■操作

❶ AUX **押す**

AUX

電源が入り、「AUX」（外部機器）に切り換わります。

❷ **別売り機器の再生を始める**

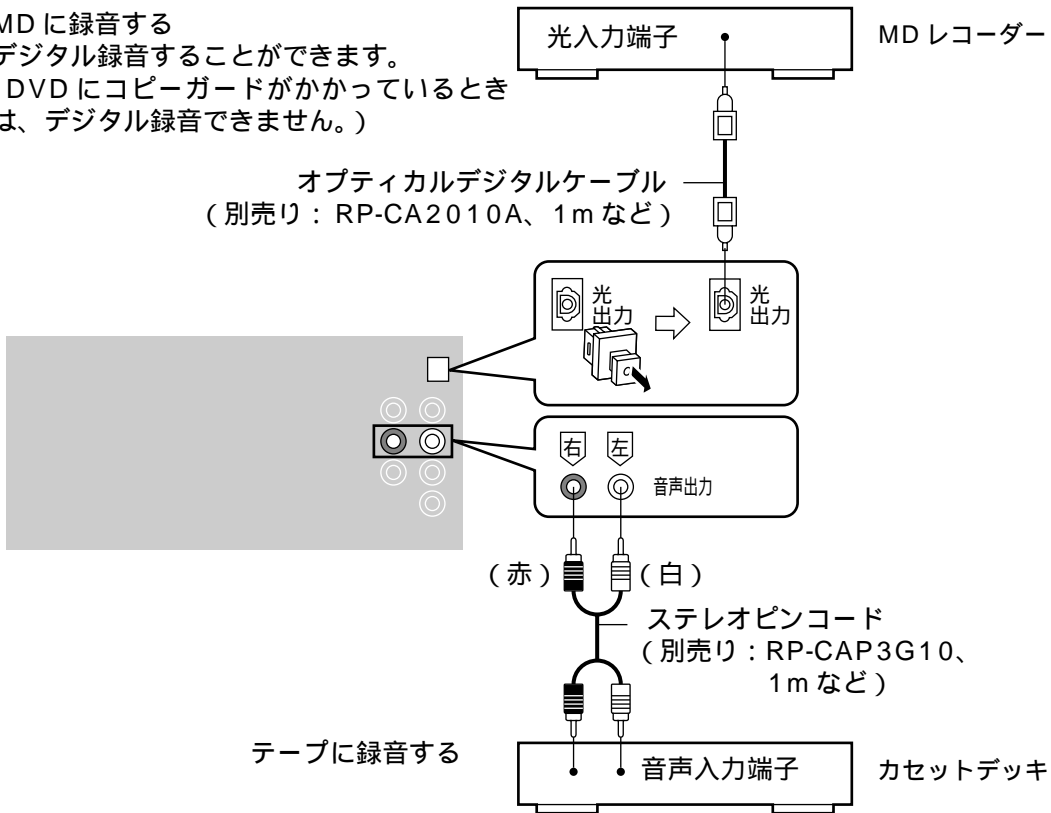
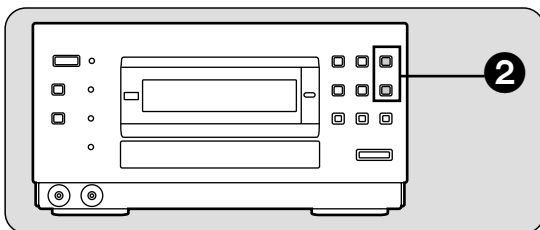
MD、テープに録音する

本機からの音を MD、またはテープに録音することができます。

■接続

- **MD に録音する**
  デジタル録音することができます。
  （DVD にコピーガードがかかっているときは、デジタル録音できません。）

- **テープに録音する**

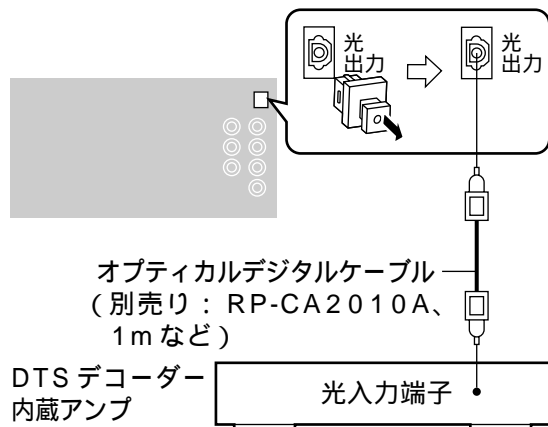
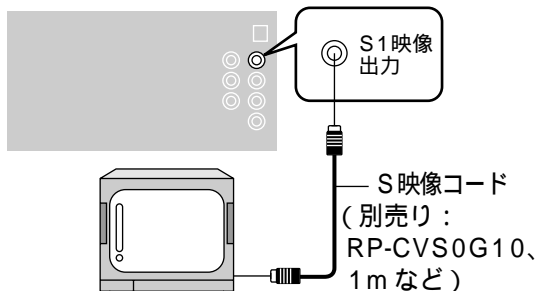
■操作

❶ **別売り機器での録音を始める**

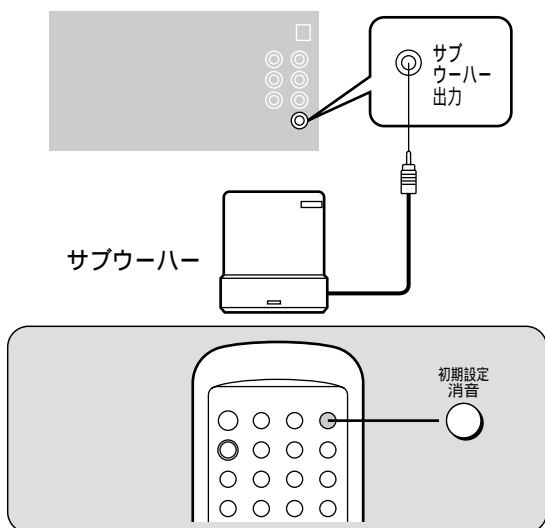
❷ **▶ または FM/AM 押して**

録音したいソースの再生を始める

DTS の音声を楽しむ

DTS デコーダーを内蔵しているアンプに接続して、DTS の音声を楽しむことができます。
（初期設定画面でデジタル出力の設定を切り換える必要があります。➪ 51 ページ）

※本システム以外のスピーカー（別売り）が必要です。

S 映像端子付きテレビを接続する

S1 映像出力端子を使って接続すると、映像情報を輝度（Y）信号とカラー（C）信号に分離してテレビに伝えるため、映像出力端子で接続した場合よりも鮮明な画像を得られます。
（実際の映像は接続するテレビによります。）
- 接続するテレビによっては、端子に合わせてテレビ側で入力を切り換える必要があります。

別売りのサブウーハーを接続する

付属のフロントスピーカーはスーパーウーハーを内蔵しており、低音を出すことができますが、別売りのサブウーハーを接続することによって、より迫力ある低音を楽しむことができます。（5.1 チャンネルで記録された DVD に限ります。）

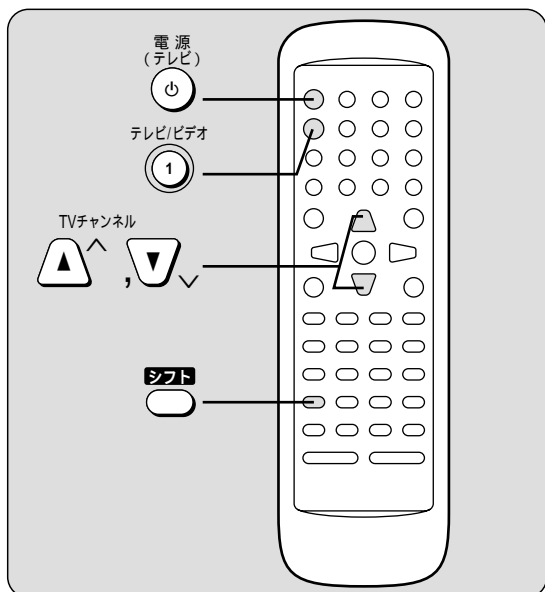
サブウーハーを接続するときには、以下の操作をしてください。

押しつづける

表示窓に “ SUBW ON ” と表示されます。

■サブウーハーを接続しないときには

“ SUBW OFF ” が表示されるまで、[消音]を押しつづける。

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンで、当社製のテレビを操作することができます。

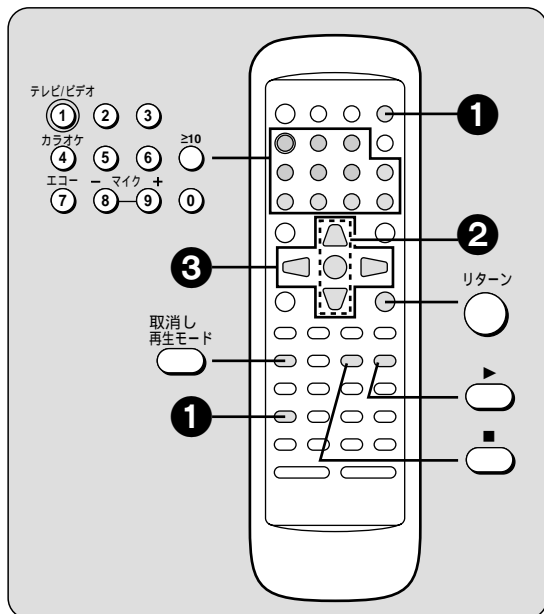
お知らせ
- テレビによっては、できない操作もあります。
- 当社製のテレビでも、まったく操作できないものもあります。

■テレビの電源を入／切する

■テレビの入力を切り換える

■テレビのチャンネルを切り換える

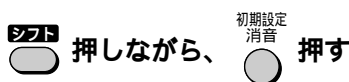
いろいろな設定

リモコンのみ　設定を変える

本機の基本的な状態はお買い上げ時に設定されています。(➪ 48 ページ)
この設定は、好みや使用状況によって変更することができます。
初期設定画面で設定した内容は電源を切っても残ります。

準備
[▶] を押して、ディスクモードにする。
(電源が入ります。)
演奏が始まった場合は、[■] を押して停止する。

❶ 停止中に

シフト **押しながら、**

押す

テレビに初期設定画面が表示されます

❷ ▲ ▼ **押して**
項目を選び
▼
決定 **押す**

❸ ◀ ▶ ▲ ▼ **押して選び**
▼
押す

画面の指示に従って、操作を繰り返してください。
(何回繰り返すかは、設定する項目によります。)
設定の詳しい内容は 48、49 ページをご覧ください。

手順 ❷、❸ は、数字ボタンでもできます。
選択する項目の番号のボタンを押します。
(例) “ 3 画面メニュー言語 ” を選ぶには
→ [3] を押す

■ひとつ前の画面に戻るには
[リターン] を押す。

■初期設定を終了するには
[シフト] を押しながら、[初期設定]を押す。

お知らせ
プログラム再生モード (➪ 25 ページ)、ランダム再生モード (➪ 26 ページ) のときは、初期設定画面を表示することができません。
初期設定を変更するときは、[再生モード] を押してモードを解除してください。

初期設定一覧

本機の初期設定は以下の表のようになっています。詳しい設定のしかたは47ページをご覧ください。

項　目		選択肢
1 ディスク言語	1 音声言語	1　日本語　3　オリジナル 2　英語　4　その他＊＊＊＊
	2 字幕言語	1　オート　3　英語 2　日本語　4　その他＊＊＊＊
	3 メニュー言語	1　日本語　3　その他＊＊＊＊ 2　英語
2 視聴制限		8（すべて視聴可）～0（すべて視聴不可） 7～0に設定するときには、暗証番号の設定が必要です。 （➪50ページ）
3 画面メニュー言語		1　日本語　2　English
4 オンスクリーン	1 画面メッセージ	1　入　2　切
	2 色と位置	1　青色　4　青色 2　紫色　5　紫色 3　緑色　6　緑色
5 接続するTV		1　4：3　2　16：9
6 デジタル出力	1 PCMダウンサンプリング変換	1　しない　2　する
	2 Dolby Digital	1　Bitstream　2　PCM
	3 DTS Digital Surround	1　Off　2　Bitstream
7 スピーカー設定	センターディレイタイム	0 ms　2.6 ms　5.3 ms 1.3 ms　3.9 ms
	サラウンドディレイタイム	0 ms　10.6 ms 5.3 ms　15.9 ms
9 エキスパート設定	1 スチルモード	1　オート　3　フレーム 2　フィールド
	2 早送り時の音声	1　あり　2　なし
	3 TVモード（4：3）	1　パン&スキャン　2　レターボックス
	4 音声のダイナミックレンジ圧縮	1　切　2　入
	5 I／P／Bインジケーター	1　しない　2　する

- 日本語　のように囲われているものが、工場出荷時の設定です。
- 8 の項目はありません。

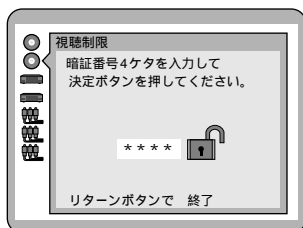
設定内容
音声の言語を設定（ディスクによっては、ディスク側で指定されている言語で再生されることもあります。） “ 4 その他 ＊＊＊＊ ” を選んだときは数字ボタンで言語番号（➪ 50 ページ）を入力してください。
字幕の言語を設定（ディスクによっては、ディスク側で指定されている言語で再生されることもあります。） “ 4 その他 ＊＊＊＊ ” を選んだときは数字ボタンで言語番号（➪ 50 ページ）を入力してください。
メニュー画面などをテレビに表示するときの言語を設定 “ 3 その他 ＊＊＊＊ ” を選んだときは数字ボタンで言語番号（➪ 50 ページ）を入力してください。
DVD の視聴制限のレベルを設定（ディスクにレベルが記録されているときに限ります。） レベル 8 ：すべての DVD が視聴可 レベル 7 〜レベル 1 ：一部の DVD が視聴不可（どのレベルで視聴不可かはディスクによります。） レベル 0 ：すべての DVD が視聴不可
初期設定画面や、操作をしたときに出る “ 再生 ” などの画面表示の言語を設定
操作をしたときに出る “ 再生 ” などの画面表示を表示するか、表示しないかを設定
操作をしたときに出る “ 再生 ” などの画面表示や GUI 画面の色と表示位置を設定
接続するテレビの画面サイズを設定 4 ： 3　　従来のテレビ　　　16 ： 9　　ワイドテレビ
光出力端子から出る音声信号の種類を設定（➪ 51 ページ）
5.1 チャンネルの音声を楽しむときは、フロント、センター、サラウンドの 5 つのスピーカーから視聴位置までの距離がすべて同じであることが理想です。距離が違う場合は、各スピーカーからの音が届くタイミングが異なるため、ディレイタイム（遅延時間）を調整してタイミングを合わせます。（➪ 51 ページ） Dolby Digital の DVD のときに有効です。
静止中に表示される画面の種類を設定 フィールド：ブレの少ない画面（➪ 54 ページ） フレーム：小さな文字や細かい絵柄がはっきり見える画面（➪ 54 ページ）
早送り 1 のときの音声の有無を設定（DVD、VCD のみ）
従来のサイズ（4 ： 3）のテレビを接続しているとき、ワイド（16 ： 9）で記録されたディスク映像がどのように映し出されるかを設定
Dolby Digital の DVD を再生時に、ダイナミックレンジ（音量の大小の幅）を小さくするかしないかを設定 「入」にすると、小さい音量で再生しても、セリフがはっきり聞こえます。
静止時に、DVD の画像の種類（I/P/B➪ 54 ページ）をテレビに表示するかしないかを設定

いろいろな設定（つづき）

言語番号一覧表

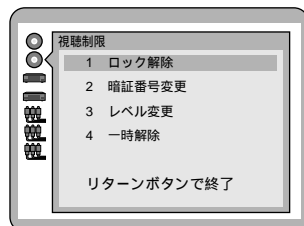
言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	カンナダ	7578	タタール	8484	フリジア	7089
アイマラ	6588	カンボジア	7577	タミル	8465	ブータン	6890
アイルランド	7165	キルギス	7589	タガログ	8476	ブルガリア	6671
アゼルバイジャン	6590	ギリシャ	6976	タジク	8471	ブルターニュ	6682
アッサム	6583	クルド	7585	チェコ	6783	ヘブライ	7387
アファル	6565	クロアチア	7282	中国語	9072	ベトナム	8673
アフリカーンス	6570	グアラニー	7178	チベット	6679	ベロルシア（白ロシア）	
アブハジア	6566	グジャラト	7185	ティグリニア	8473		6669
アムハラ	6577	グリーンランド	7576	テルグ	8469	ベンガル（バングラ）	
アラビア	6582	グルジア	7565	デンマーク	6865		6678
アルバニア	8381	ケチュア	8185	トウイ	8487	ペルシャ	7065
アルメニア	7289	（スコットランド）ゲール		トルクメン	8475	ポーランド	8076
イタリア	7384		7168	トルコ	8482	ポルトガル	8084
イディッシュ	7473	コーサ	8872	トンガ	8479	マオリ	7773
インターリングア	7365	コルシカ	6779	ドイツ	6869	マケドニア	7775
インドネシア	7378	サモア	8377	ナウル	7865	マライ（マレー）	7783
ウェールズ	6789	サンスクリット	8365	日本語	7465	マラッタ	7782
ウォロフ	8779	ショナ	8378	ネパール	7869	マラヤーラム	7776
ヴォラピュック	8679	シンド	8368	ノルウェー	7879	マルタ	7784
ウクライナ	8575	シンハラ	8373	ハウサ	7265	マダガスカル	7771
ウズベク	8590	ジャワ	7487	ハンガリー	7285	モルダビア	7779
ウルドゥー	8582	スウェーデン	8386	バシキール	6665	モンゴル	7778
英語	6978	スロバキア	8375	バスク	6985	ヨルバ	8979
エストニア	6984	スロベニア	8376	パシュト	8083	ラオ	7679
エスペラント	6979	スワヒリ	8387	パンジャブ	8065	ラテン	7665
オーリヤ	7982	スンダ	8385	ヒンディー	7273	ラトビア（レット）	
オランダ	7876	スペイン	6983	ビハール	6672		7686
カザフ	7575	ズールー	9085	ビルマ	7789	リトアニア	7684
カシミール	7583	セルビア	8382	フィジー	7074	リンガラ	7678
カタロニア	6765	セルボクロアチア	8372	フィンランド	7073	ルーマニア	8279
ガリチア	7176	ソマリ	8379	フェロー	7079	レトロマンス	8277
韓国（朝鮮）語	7579	タイ	8472	フランス	7082	ロシア	8285

視聴制限の暗証番号を設定する（2 視聴制限）

レベル 7 〜 0 を選ぶとテレビに暗証番号画面が表示されます。

① 数字ボタンで 4 ケタの暗証番号を入力し、［決定］を押す。
② もう一度［決定］を押す。
初期設定画面に戻ります。

■設定を変更するには

いったんレベル設定をした後に“ 2 視聴制限 ”を選ぶと、テレビに暗証番号画面が表示されます。

① 設定してある 4 ケタの暗証番号を数字ボタンで入力する。
② カーソルボタン（▲、▼）で項目を選び、［決定］を押す。

1 ロック解除： レベル 8 の設定に戻る
2 暗証番号変更： 新しい暗証番号を設定する
3 レベル変更： レベル設定を変更する
4 一時解除： 現在トレイに入っているディスクに限り、制限を解除する
次のときには設定が元に戻ります。
- トレイを開けたとき
- ラジオ、AUX に切り換えたとき
- 電源を切／入したとき

デジタル音声出力の種類を設定する（6 デジタル出力）

光出力端子から出るデジタル信号の種類を設定します。

1 PCMダウンサンプリング変換

96 kHz リニアPCMで記録されたDVD再生中の出力を設定

1 しない：出力しません
コピーガードがかかっていないDVDのときは、記録方式のままの音声信号を出力します。

2 する：48 kHz 16 bitに変換された信号を出力

- PCM（➪ 54ページ）の音声信号は著作権保護のために、48 kHz 16 bit以下に規定されています。
- "2 する"を選んでいるときは、音声出力端子から出力される信号も48 kHzに変換されます。

2 Dolby Digital

Dolby Digitalで記録されたDVD再生中の出力を設定

1 Bitstream：Dolby Digitalのビットストリーム（1～5.1チャンネル）（➪ 54ページ）を出力

2 PCM：48 kHz 16 bitのPCMに変換された信号（2チャンネル）を出力

3 DTS Digital Surround

DTSで記録されたDVD再生中の出力を設定

1 Off：出力しません

2 Bitstream：DTSのビットストリームを出力

DTSの音声を楽しむには、別売りのDTSデコーダーに接続して（➪ 45ページ）、"2 Bitstream"を選んでください。

スピーカーディレイタイムの算出方法（7 スピーカー設定）

スピーカーを置く位置によって、各スピーカーから音が届くタイミングが異なります。この差を補正するために、センター、サラウンドスピーカーから音が届くまでの時間を調節します。

各スピーカーの出力調節は35ページの方法で行ってください

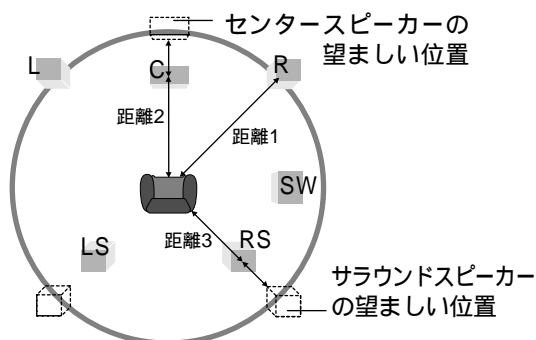
センタースピーカーのディレイタイム

距離 1≦距離 2 のとき： 0 ms に設定
距離 1＞距離 2 のとき：下の表に従って設定

距離1と距離2の差	ディレイタイム
50 cm	1.3 ms
100 cm	2.6 ms
150 cm	3.9 ms
200 cm	5.3 ms

サラウンドスピーカーのディレイタイム

距離 1≦距離 3 のとき： 0 ms に設定
距離 1＞距離 3 のとき：下の表に従って設定

距離1と距離3の差	ディレイタイム
200 cm	5.3 ms
400 cm	10.6 ms
600 cm	15.9 ms

すべてのスピーカーがこの円周上にあるのが望ましい設置です。
距離 1 ：フロントスピーカーからの距離
距離 2 ：センタースピーカーからの距離
距離 3 ：サラウンドスピーカーからの距離

テレビ画面に映し出される映像

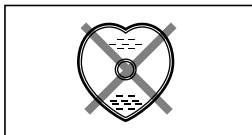
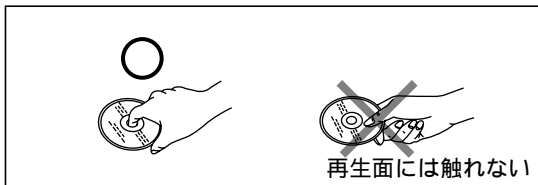
テレビ画面に映し出される映像は、ソフトとテレビ（画面モード）との関係で、下の表のようになります。

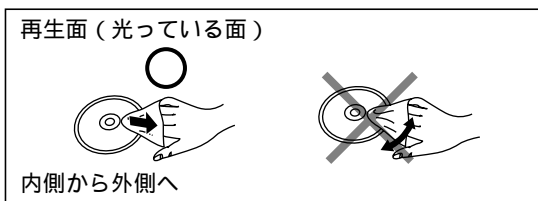
<table>
<tr><th>接続するテレビ（画面モード）／ソフトの種類</th><th>４：３</th><th>16：9（フルモード）</th><th>16：9（ズームモード）</th><th>16：9（オートモード）</th></tr>
<tr><td>ワイドソフト（パン＆スキャン指定）
※ 16:9 PS</td><td>左右が切れる</td><td rowspan="2">フル画面</td><td rowspan="2">上下が切れる</td><td rowspan="2">フル画面</td></tr>
<tr><td>ワイドソフト（レターボックス指定）
※ 16:9 LB</td><td>レターボックス（上下に黒帯）</td></tr>
<tr><td>４：３のソフト
※ 4:3</td><td>フル画面</td><td>左右方向に引き伸ばされる</td><td>上下が切れる</td><td>フル画面（左右に黒帯ができる）</td></tr>
<tr><td>４：３レターボックスのソフト（黒帯付）
※ LB</td><td>レターボックス</td><td>左右方向に引き伸ばされる</td><td>フル画面（黒帯がなくなる）</td><td>画面両端が左右方向に引き伸ばされる</td></tr>
</table>

- ソフトや画面モードの呼びかたはメーカーにより異なることがあります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側（または片側）をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。
- レターボックスとは、ワイド（16：9）のソフトを再生するときに、画面サイズの不足分を埋めるために、画面の上下に黒帯を入れたものです。
- ※はディスクのジャケットに表示されているマークです。

ディスクについて

これらのマークが入ったものをご使用ください。

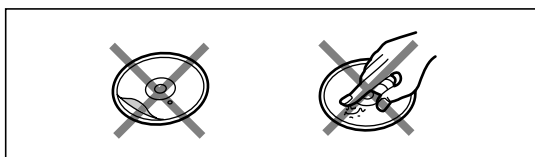
ただし、ハート型など、特殊形状のディスクは使わないでください。（機器の故障の原因になります）

■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

- 市販のラベルプリンターで印刷したディスクは使わない

保管

次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■本体が汚れたら

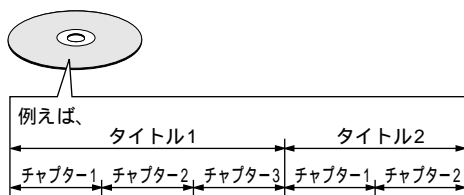
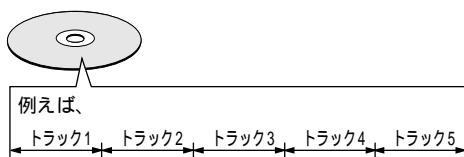
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ディスクをよい音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーなどで、定期的に清掃されることをおすすめします。
CD レンズクリーナー（別売り：RP-CL510）

用語解説

タイトル、チャプター
DVD はいくつかの区切りに分けられており、大きな区切りがタイトル、小さな区切りがチャプターです。
チャプターは CD、ビデオ CD のトラックに当たります。

トラック
CD、ビデオ CD の中の区切り。

チャンネル（ch）
出力される音域や特徴によって区別された音声の種類です。
例）5.1 チャンネル
- フロントスピーカー：L（1 ch）/R（1 ch）
- センタースピーカー：（1 ch）
- サラウンドスピーカー：L（1 ch）/R（1 ch）
- サブウーハー：（1 ch × 0.1 ※＝ 0.1 ch）

※出力される音声全体に対して低音が占める割合

デジタル音声の用語

サンプリング周波数
サンプリングとは、デジタル信号を作るために、アナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、1 つ 1 つの波の高さを数値化すること。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

デコーダー
DVD などに符号化して記録された音声データを、通常の音声信号に戻す装置。
この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。
圧縮率が高く、1 枚のディスクに大量のデータを記録できます。

DTS（Digital Theater Systems）（デジタル シアター システムズ）
DTS 社が開発したデジタル音声記録方式で、多くの映画館で採用されているサラウンドシステムです。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

PCM、リニア PCM
音楽 CD などで一般的に使用されているデジタル信号方式を PCM（Pulse Code Modulation（パルス コード モジュレーション））といいます。DVD は容量が大きいため、CD 以上のサンプリング周波数を用いたリニア PCM 信号を収録することができます。

Bitstream（ビットストリーム）
5.1 ch などの音声データを各チャンネルにデコードする前のデジタル信号。

PBC（プレイバックコントロール）
メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作する再生方式。バージョン 2.0 のビデオ CD で使われています。

映像についての用語

フレーム
動画の 1 コマ 1 コマ。
たとえばテレビでは、1 秒間に 30 コマ（静止画像）を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド
1 フレームの映像情報を 2 つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで 1 フレームを構成しています。

フレームスチル／フィールドスチル
動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは 2 フィールドを交互に映し続けるため、画像にブレが生じますが、画質は良くなります。
フィールドスチルでは、映像情報が半分になるため画質は荒くなりますが、画面のブレはありません。

I/P/B
DVD で採用されている映像方式 MPEG2 では、1 画面（フレーム）を以下の 3 つの種類に分け、デジタル信号に符号化しています。

I：I ー Picture（フレーム内符号化）
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質が最も良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。

P：P ー Picture（前方向予測符号化）
過去の Picture（I または P）から算出される画面。

B：B ー Picture（両方向予測符号化）
前後の Picture（I または P）の比較から算出されるもので、画像情報が最も少ない画面です。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。	44
	有線放送をつなぎたい	後面の補助入力（AUX）端子に接続します。	44
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	
ディスクについて	DTS で記録されたディスクを再生したい。	本機は DTS デコーダーを搭載しておりませんので、DTS の音声は再生できません。再生するには別売りのデコーダーと本システム以外のスピーカーが必要です。	45
	海外で購入した DVD などの映像付きディスクを再生したい。	DVD ビデオディスクにはリージョン番号があり、プレーヤーのリージョン番号と合致していないと、再生できません。	7
	DVD の映画をビデオにダビングしたい。	ほとんどの DVD にはコピーガードがかけてあり、ダビングすることはできません。	
その他	長時間使用していると本体が熱くなるが、大丈夫か	大丈夫です。ただし、本体の上に物を置いて放熱を妨げたりしないでください。特に、放熱孔はふさがないでください。	
	引っ越しするのだが、そのまま使える?	東日本・西日本に関係なく使えます。	

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

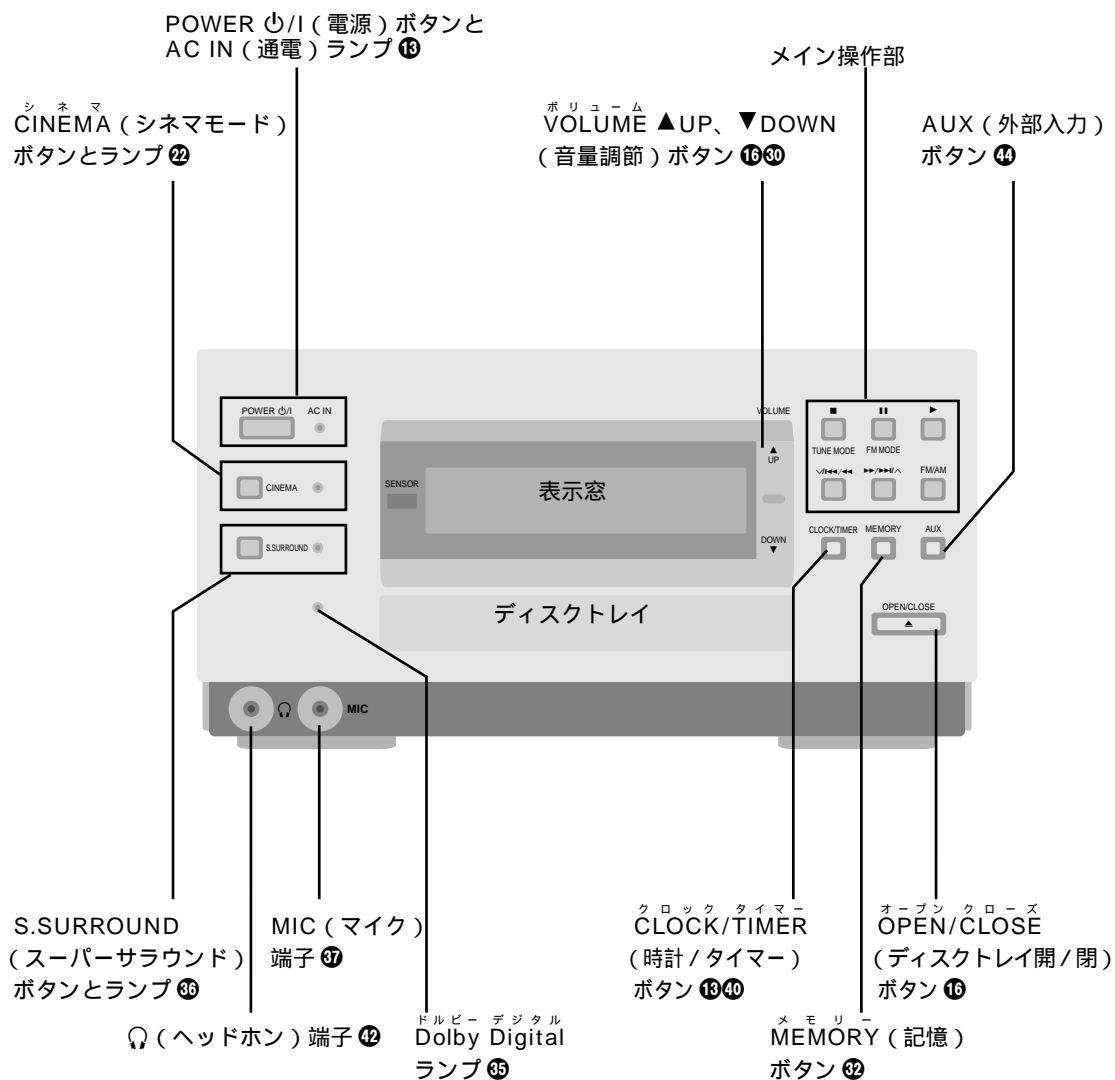
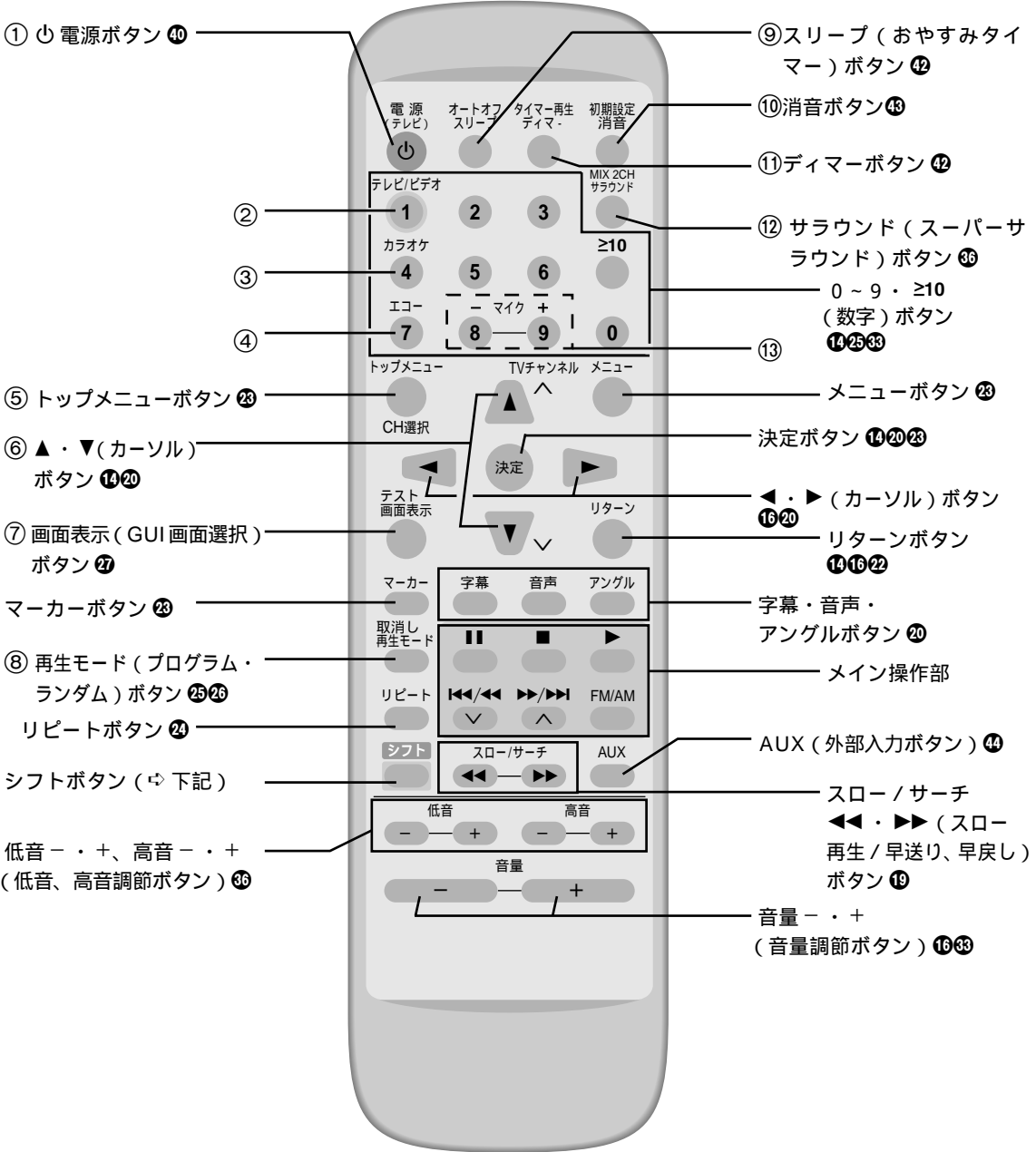
	こんなときは	ここを確認、処置してください	参照ページ
システム全体に共通	スピーカーから全く音が出ない。 または、片側のスピーカーからしか音が出ない。	スピーカーコードが正しく接続されているか確認してください。	10
	音の位置が定まらない、または左右の音が逆になる。	スピーカーコードの⊕、⊖、左、右を確認して、正しく接続してください。	10
	再生中にブーンという音がする。	電気器具の電源コードや蛍光燈が本機の近くにある場合は、できるだけ離してください。 または、プラグの向きを逆にして差しかえてみてください。	
	再生中に音がでなくなった。	スピーカーコードがショートしていませんか。 その場合はいったん本機の電源を切り、正しく接続し直してから、もう一度電源を入れてください。	10
	表示窓に“ERROR”が表示される。	間違った操作をしていませんか。取扱説明書にしたがって、もう一度操作し直してください。	
	表示窓に“−−:−−”が表示される。	電源コードを接続した直後か、あるいは停電があった可能性があります。 時計を合わせてください。	13
	表示窓に“DVD H□□”が表示される。 (□□には番号が表示されます。)	問題が生じました。 電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。しばらくしたら、もう一度電源プラグを差し込み、正常に動作するか確かめてください。 動作がおかしい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	
	表示窓に“F61”が表示される。	スピーカーコードがショートしていないか確認してください。 それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	10
	5.1チャンネルサラウンドのディスクを再生しているのに、センター、サラウンドスピーカーから音が出ない。	マイクやヘッドホンを接続していませんか。 接続していると、強制的に2チャンネルになり、センター、サラウンドスピーカーから音が出ません。	
リモコン	リモコンで操作できない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	12
		乾電池が消耗している場合は、新しい電池と取り替えてください。	12
テレビ	時々画面が消えたり、シマ模様が出たりする。	アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。 簡易アンテナをご使用なら、専用アンテナに変えることが必要な場合もあります。	
		アンテナ線が本機に近いときは、離してください。	

故障かな!?

	こんなときは	ここを確認、処置してください	参照ページ
ディスク	ディスクを入れても表示窓の表示が変わらない。 ［▶］を押しても再生が始まらない。	規格外のディスクを使用していませんか。	53
		寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズに露がつく場合があります。 1 時間ほど待ってから使用してみてください。	
	特定の箇所が再生できない。	ディスクが汚れていませんか。柔らかい布で汚れをふき取ってください。	53
	テレビに映像が出ない。	映像コードが正しく接続されているか確認してください。	10
		テレビの入力を接続に合わせて切り換えてください。（ビデオ 1 など）	
	テレビに“ ⊘ ”が表示される。	ディスクによっては、その操作が禁止されている場合があります。	
	表示窓に“ DVD U11 ”が表示される。	ディスクが汚れています。柔らかい布で汚れをふき取ってください。	53
	表示窓に“ NO PLAY ”が表示される。	ディスクと本機のリージョン番号が合致していますか。本機で再生できるディスクは「2」（「2」を含むもの）または「ALL」です。	7
		ディスクに傷がついていませんか。	
	表示窓に“ DTS CD ”が表示される。	DTS の CD の可能性があります。本機では DTS の音声は再生できません。別売りのデコーダーが必要です。	45
	初期設定画面が表示されない。	音源がラジオ、AUX になっていませんか。 ［▶］を押して、ディスクに切り換えてください。 演奏が始まった場合は［■］を押して停止してください。	47
		プログラム再生モード、ランダム再生モードになっていませんか。 ［再生モード］を押して、モードを解除してください。	25、26
	視聴制限の暗証番号を忘れてしまった。	次の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻して、制限を解除することができます。 ① 本体の［■］とリモコンの［≥10］を同時に押しつづけ、テレビに“ オールクリア ”と表示させる。 ② 電源を切／入する。	
ラジオ	ステレオ放送がよく受信できない。 雑音やひずみが多い。 “ ST ”が点滅する。	● FM 簡易アンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は、本機から離すか、電源を切ってみてください。	
		送信所が遠いときや、鉄筋ビルの中などは、電波が弱くなります。テレビアンテナを利用してください。	43
	AM 放送がよく受信できない。 雑音が多い。	● AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● アンテナ線の近くに電源コードやその他のコードがある場合は、離してください。 ● テレビやパソコンと同時に使用したり、携帯電話の充電を近くでしたりしていませんか。本機から離すか、電源を切ってみてください。	
		屋外アンテナを設置する方法もあります。	43

各部のなまえ

本体

⓭ などの数字は参照ページです。

リモコン

①～⑬のボタンは、［シフト］を押しながら押すと、オレンジ、または青で印字された働きをします。

① ⏻（テレビ）（テレビ電源）ボタン ㊻
② テレビ／ビデオ（テレビ入力切換）ボタン ㊻
③ カラオケ（カラオケモード選択）ボタン ㊳
④ エコーボタン ㊲
⑤ CH 選択（スピーカーチャンネル選択）ボタン ㉟
⑥ TV チャンネル ∧・∨（テレビチャンネル選択）ボタン ㊻
⑦ テスト（テスト信号）ボタン ㉟
⑧ 取り消しボタン ㉓㉕
⑨ オートオフボタン ⑭
⑩ 初期設定（初期設定画面表示）ボタン ⑭㊼
⑪ タイマー再生（おめざめタイマー）ボタン ㊵
⑫ MIX 2CH（強制 2 チャンネル）ボタン ㉟
⑬ マイク－・＋（マイク音量調節）ボタン ㊳

こんな表示が出ます

表示窓

続き再生メモリー機能：RESUME
一時停止：‖
アングル切り換え：ANGLE
おめざめタイマー：◷ PLAY
オートオフ機能：AUTO OFF
おやすみタイマー：SLEEP
ステレオ／モノラル：ST MONO
サンプリング周波数 96 kHz：96kHz
ビット数 24 ビット：24bit
再生：▶
DVD：DVD
リピート
カラオケモード：KARAOKE V.MUTE MONO L R
エコー：ECHO
ランダム再生：RANDOM
プログラム再生：PGM
ラジオ放送受信：TUNED
強制 2 チャンネル：MIX 2ch

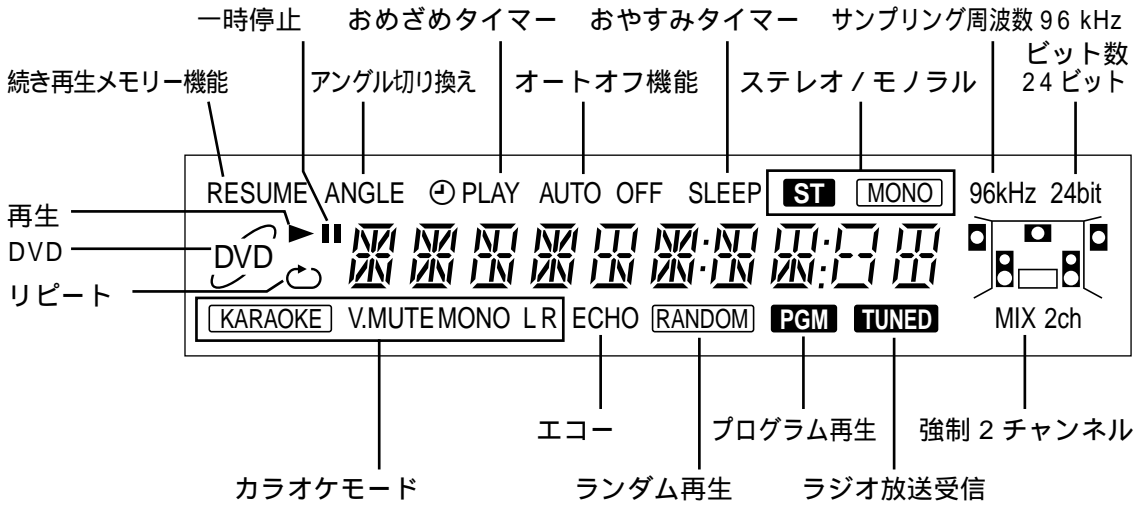
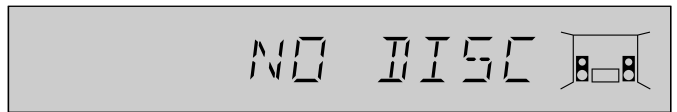
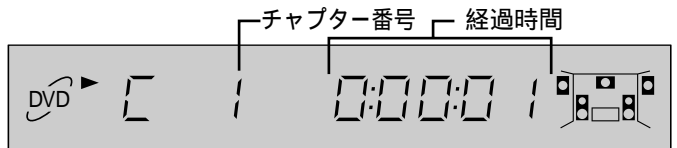
こんなときに　こんな表示になります

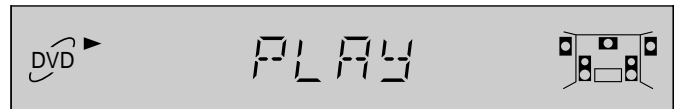
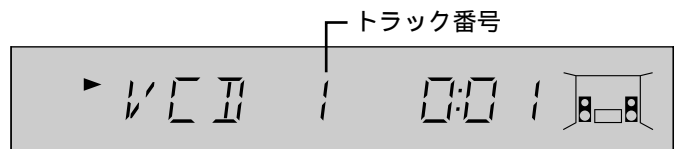
ディスクが入っていないとき

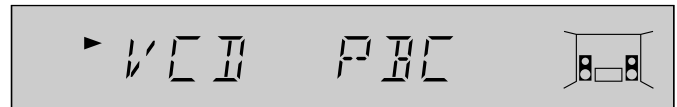
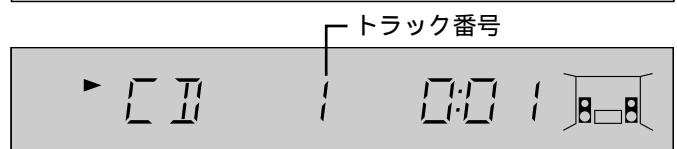
NO DISC

DVD のチャプターを再生中

チャプター番号　経過時間

DVD ▶ C 1 0:00:01

DVD のタイトルを再生中

時間表示のでない DVD を再生中

ビデオ CD を再生中

PBC 付きビデオ CD を再生中

CD を再生中

主な仕様

アンプ部

実用最大出力（サラウンド時）
：総合出力 70 W
（1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %、6 Ω）

フロント L ／ R、センター、サラウンド L ／ R
：10 W× 7

フロント	
LOW	：10 W+ 10 W （6 Ω）
HIGH	：10 W+ 10 W （6 Ω）
センター	：10 W （6 Ω）
サラウンド	：10 W+ 10 W （6 Ω）
入力感度	
補助入力（AUX）	：250 mV
MIC	：0.8 mV
入力インピーダンス	
補助入力（AUX）	：30 kΩ
MIC	：600 Ω

FM チューナー部

受信周波数帯	：76.0 ～ 108.0 MHz（100 kHz ステップ）TV 1 ～ 3 チャンネル 音声
実用感度	：16.3 dBf（1.8 µ V、IHF'58）
アンテナ端子	：75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯	：522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）
実用感度（S/N 20 dB）	：500 µ V/m

ディスク部

<ディスク>

DVD	：8 cm/12 cm、片面、1 層 8 cm/12 cm、片面、2 層 8 cm/12 cm、両面、2 層（1 層／片面）
ビデオCD、CD	：8 cm/12 cm

<ビデオ>

信号方式	：NTSC
出力レベル	：コンポジットビデオ 1 Vp-p（75 Ω）
S-ビデオ Y	：1 Vp-p（75 Ω）
S-ビデオ C	：0.286 Vp-p（75 Ω）（NTSC）

<オーディオ>

サンプリング周波数	
CD	：44.1 kHz
DVD	：48 kHz/96 kHz
量子化	：16/20/24 ビット 直線
ワウ・フラッター	：測定限界以下
デジタルフィルター	：8 fs
D/A コンバーター	：デルタ-シグマ D A C
ピックアップ	
光源	：半導体レーザー
波長	：665 nm

スピーカー部

フロントスピーカー（SB-PM08）

形式	：3 ウェイスピーカーシステム
使用スピーカー	
スーパーウーハー	：14 cm コーンタイプ
ウーハー	：10 cm コーンタイプ
ツイーター	：6 cm コーンタイプ
インピーダンス	
HIGH	：6 Ω
LOW	：6 Ω
許容入力	
HIGH	：30 W （MUSIC）
LOW	：30 W （MUSIC）
出力音圧レベル	：86 dB/W （1.0 m）
クロスオーバー周波数	：110 Hz、6 kHz
再生周波数帯域	：43 Hz～ 22 kHz （－ 16 dB） 52 Hz～ 20 kHz （－ 10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	：179 × 261 × 312 mm
質量	：約 3.7 kg

センタースピーカー（SB-PC80）

形式	：1 ウェイスピーカーシステム
使用スピーカー	
フルレンジ	：8 cm コーンタイプ
インピーダンス	：6 Ω
許容入力	：60 W （MUSIC）
出力音圧レベル	：79 dB/W （1.0 m）
再生周波数帯域	：80 Hz～ 22 kHz （－ 16 dB） 110 Hz～ 20 kHz （－ 10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	：88 × 158 × 105 mm
質量	：約 0.8 kg

サラウンドスピーカー（SB-PS80）

形式	：1 ウェイスピーカーシステム
使用スピーカー	
フルレンジ	：8 cm コーンタイプ
インピーダンス	：6 Ω
許容入力	：60 W （MUSIC）
出力音圧レベル	：79 dB/W （1.0 m）
再生周波数帯域	：80 Hz～ 22 kHz （－ 16 dB） 110 Hz～ 20 kHz （－ 10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	：88 × 158 × 105 mm
質量	：約 0.7 kg

本体総合

電源	：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	：70 W
寸法（幅×高さ×奥行）	：250 × 131 × 323 mm
質量	：約 5.2 kg

※寸法、質量は、スピーカー部を除く

電源オフ時の消費電力	約 0.4 W

注）1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■修理を依頼されるとき

56 ～ 57 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、DVD ステレオシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。（この期間は通商産業省の指導によるものです）

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

ナショナル／パナソニック
お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料） **0120-878-365**（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

Panasonic® DVD ステレオシステム SC-PM08 取扱説明書

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検

長年ご使用の DVD ステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	品番	SC-PM08

松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町１番４号

RQT5384-S
F0600YS0